

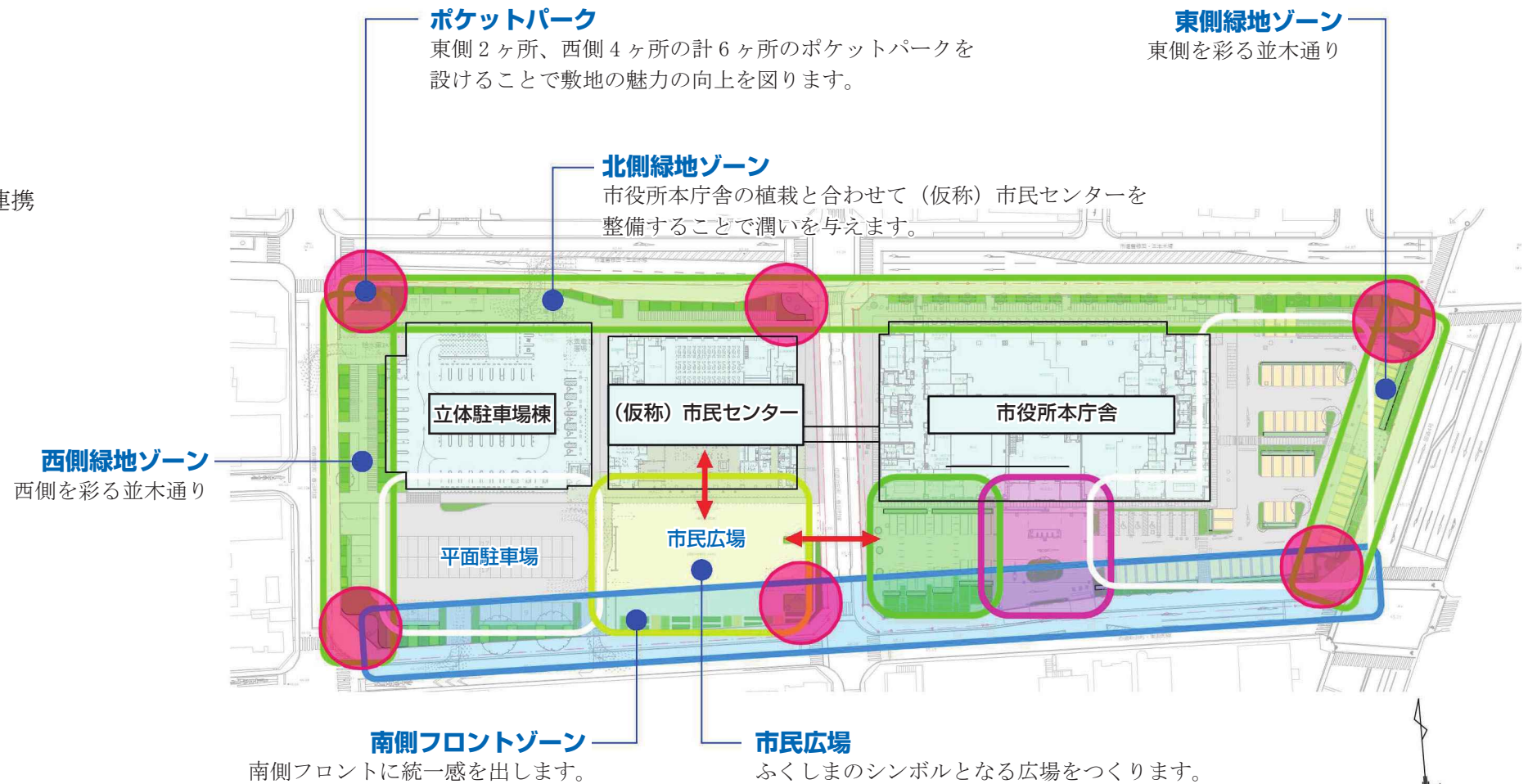
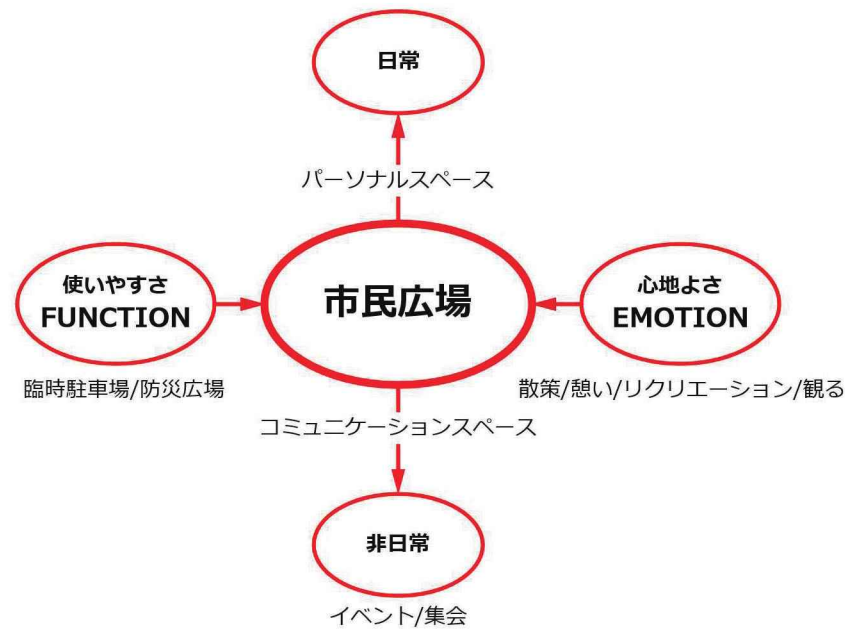
2-12 外構計画

■ランドスケープデザインコンセプト



<ふくしまの中心にふさわしいランドスケープをつくる>

- (1) ふくしまの個性の表現
 - (2) 敷地全体の魅力を向上させる
- ・ 東西南北の外周部の修景の統一
 - ・ ポケットパークの整備
 - ・ 市民広場の一体化
 - ・ (仮称) 市民センターと市民広場の連携
 - ・ パーキングエリアの修景

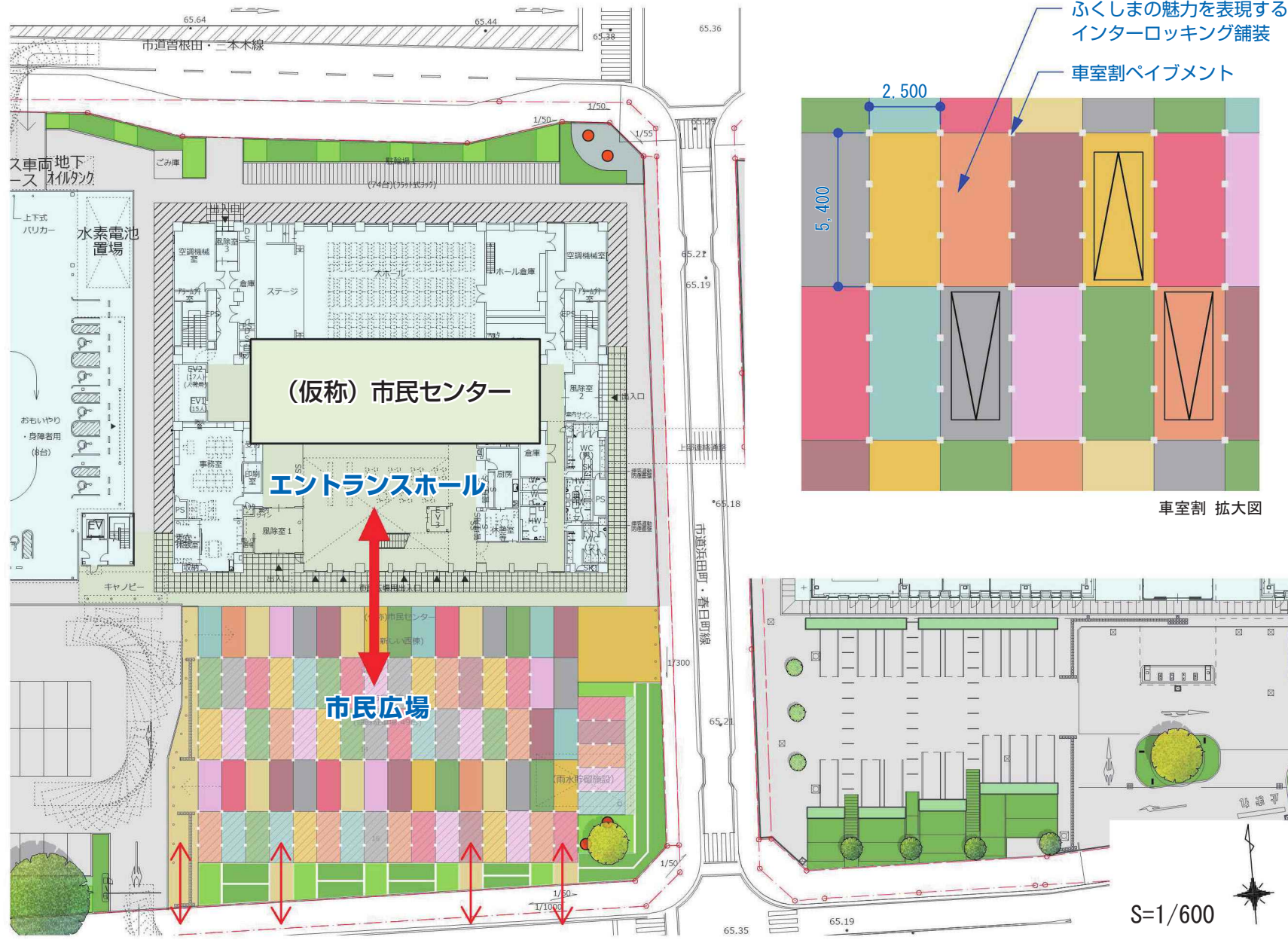
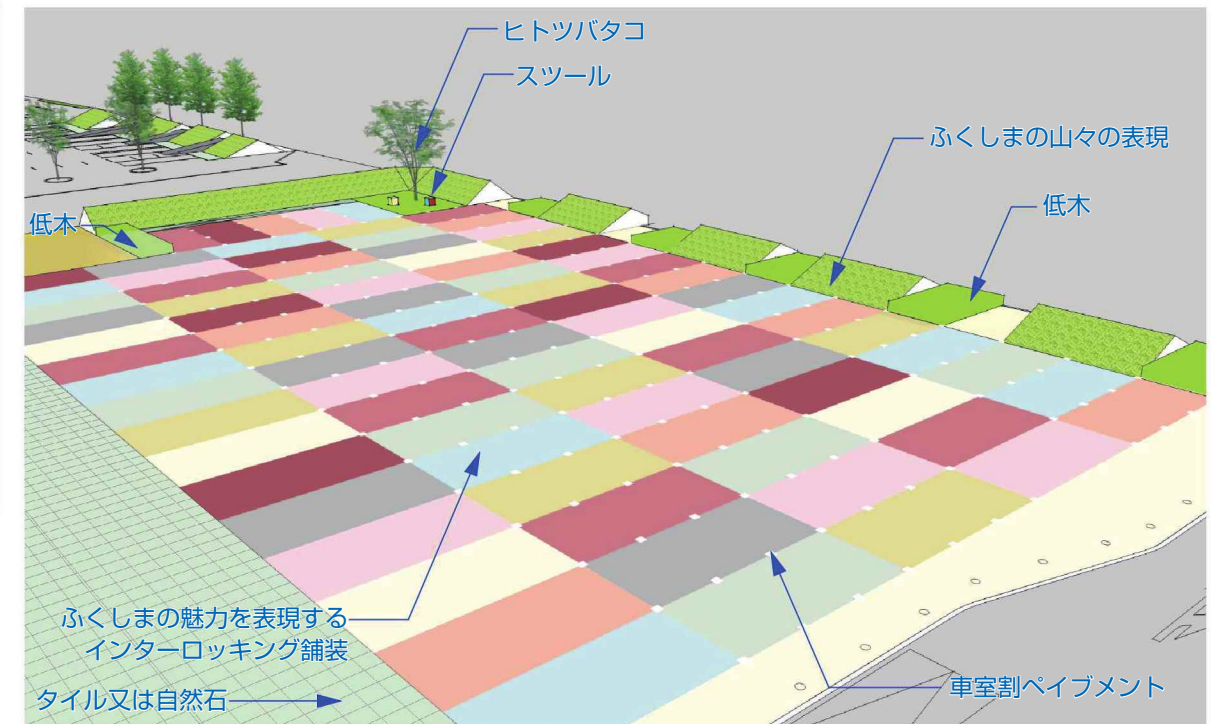
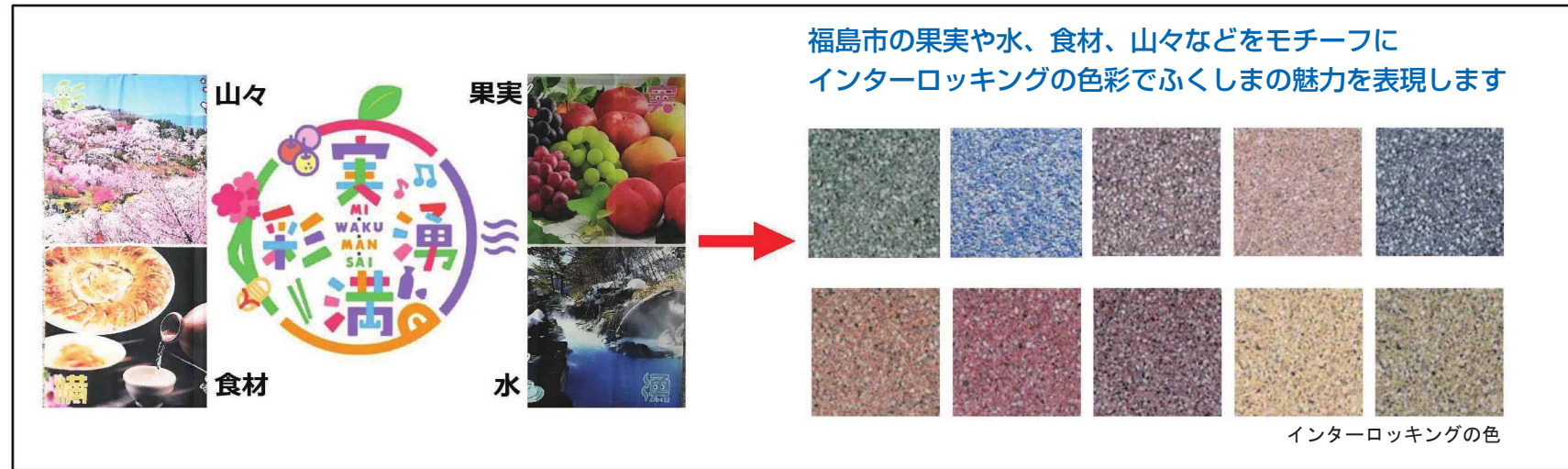


S=1/1500



■市民広場のデザイン

・全体をインターロッキングとすることで車両の乗り入れを可能にし、福島市のキャッチフレーズ「実・湧・満・彩 福島市」をモチーフにふくしまの魅力を表現します。



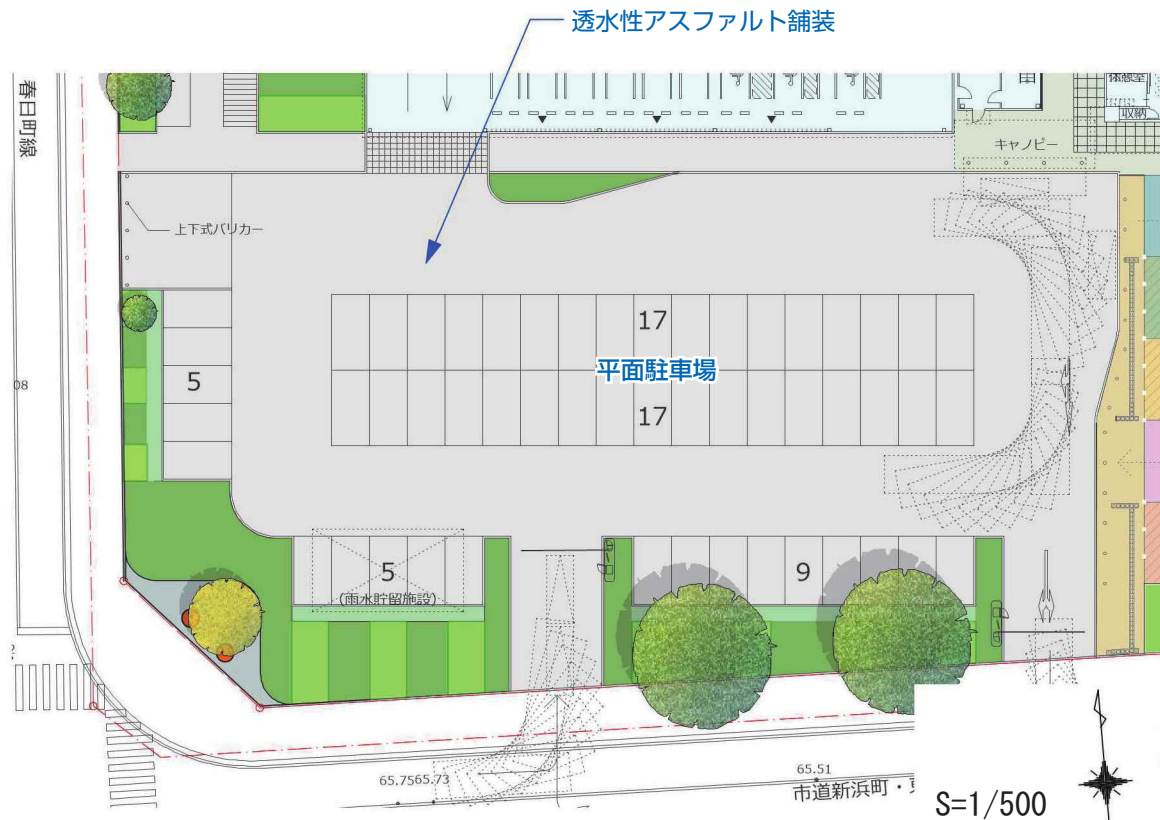
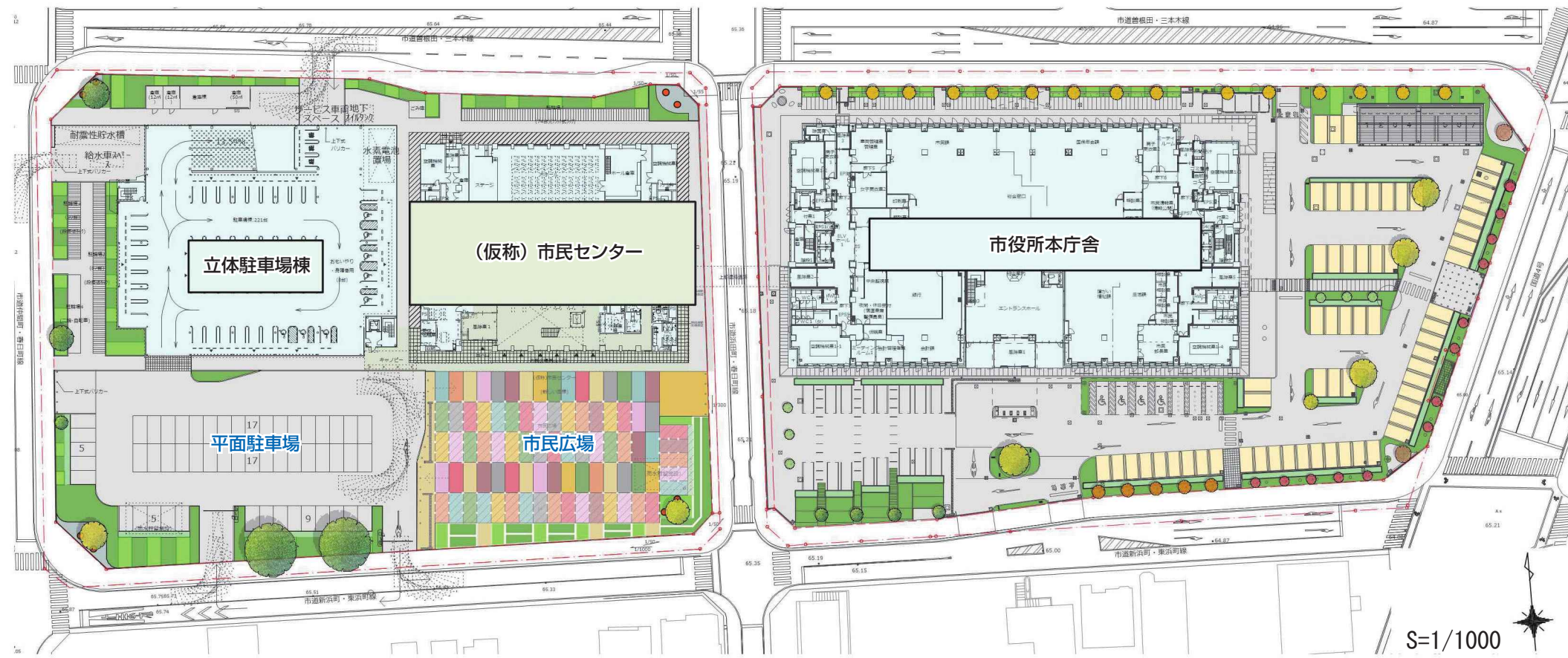
市民広場のイメージパース



市民広場で想定する活動のイメージ写真（お祭り・イベント・マルシェなど）

■平面駐車場

- ・平面駐車場の舗装材は透水性アスファルト舗装とし、雨水の流出を抑制します。

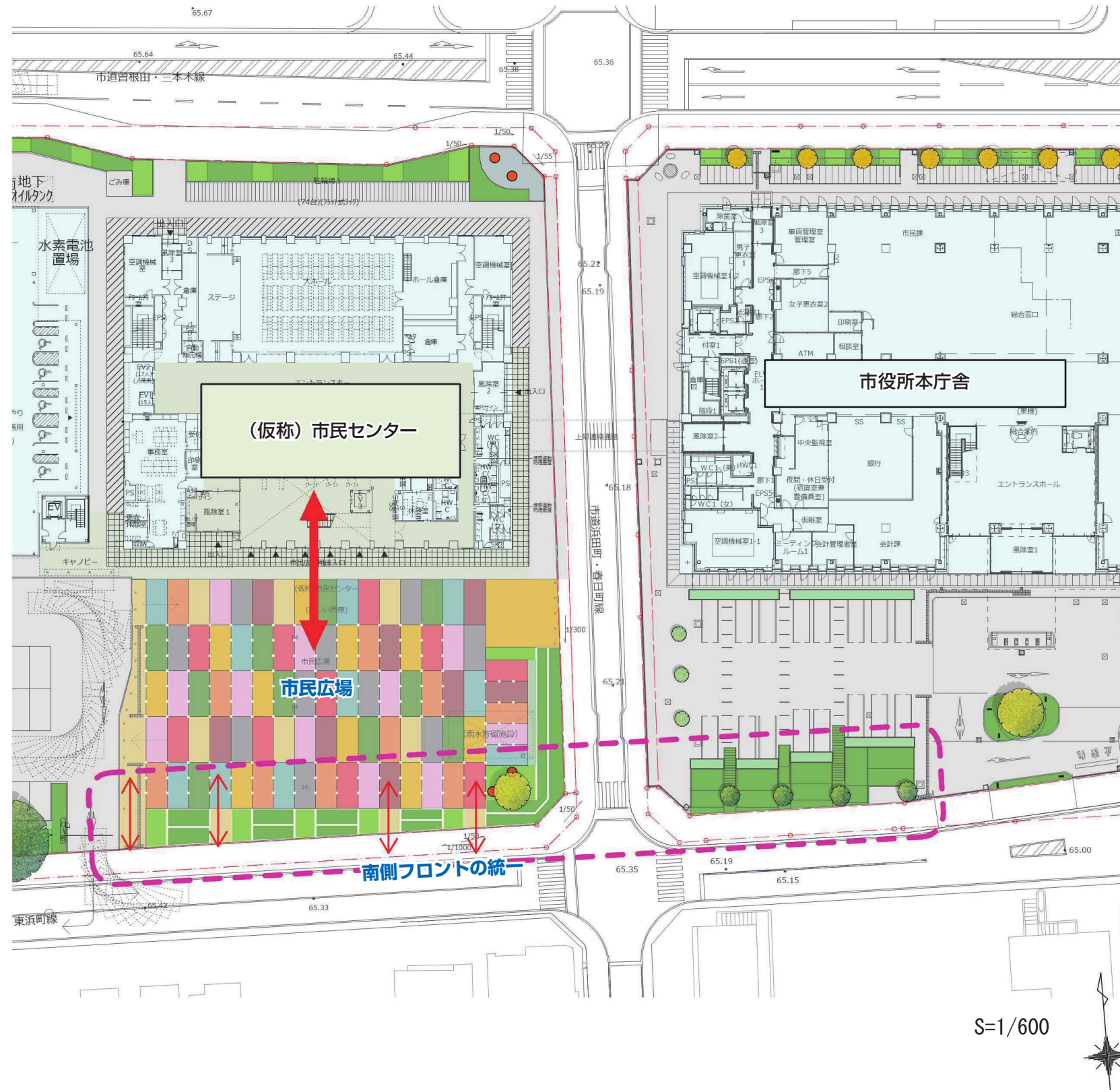


車止めの考え方

- ・駐車スペースの潤いと緑地面積を確保するために車止め（縁石兼用）までを緑化します。

■南側フロントゾーンのあり方

- ・市民広場・市役所本庁舎の南側フロントを統一することで、ふくしまの個性を表現します。
- ・(仮称)市民センターのエントランスホール〈うち〉と市民広場〈そと〉の一体化を図ります。



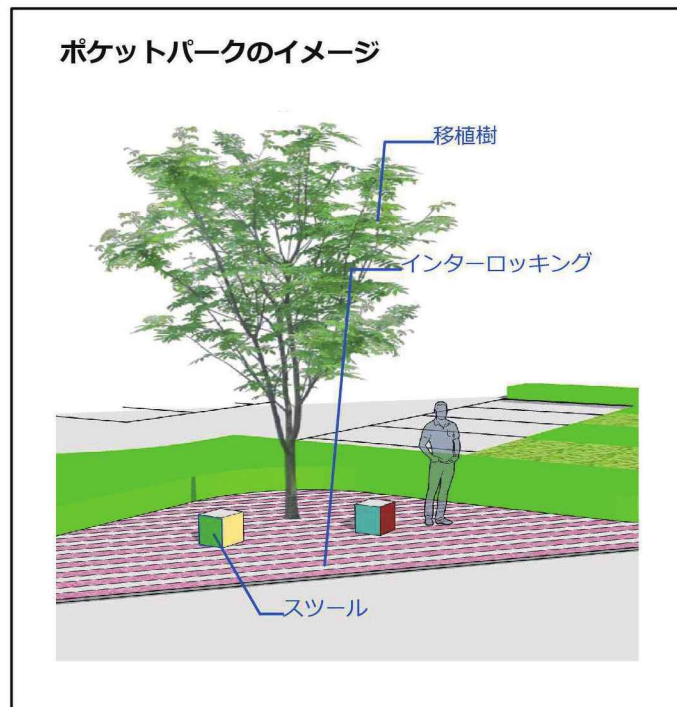
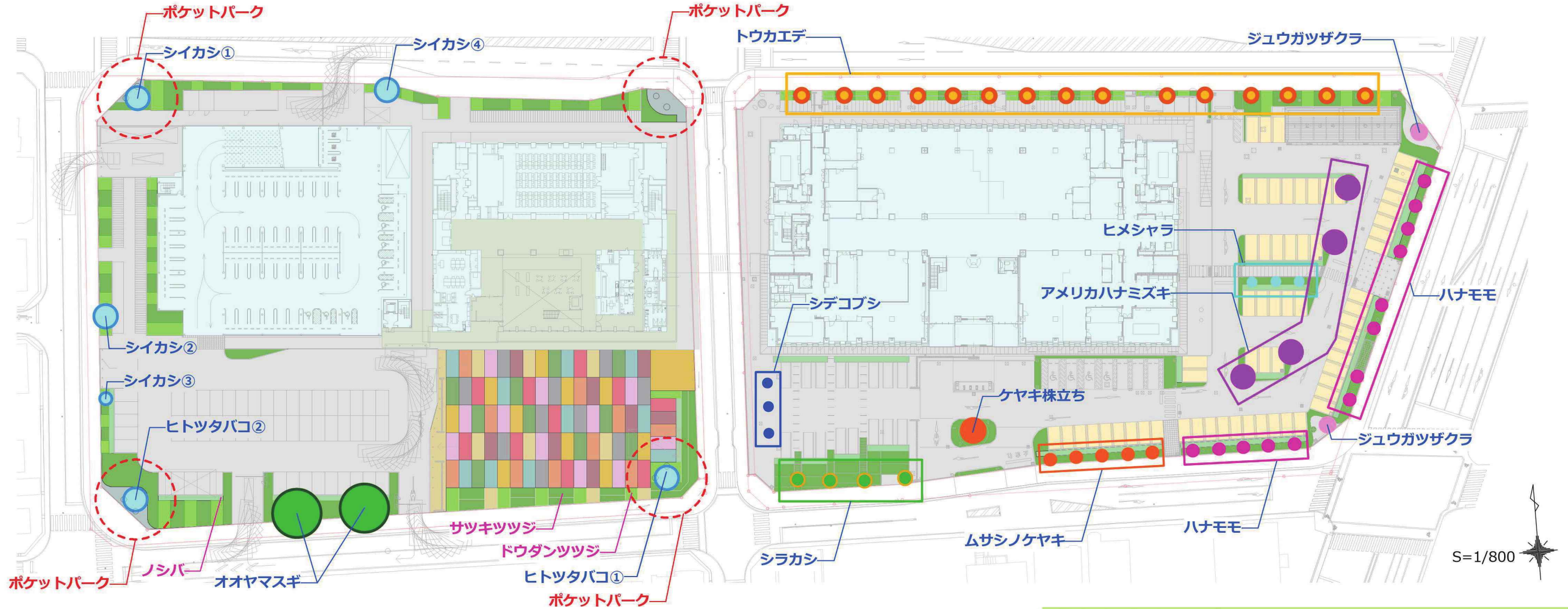
市役所本庁舎の南側フロント現地写真



市役所本庁舎の南側フロント現地写真

■北側・西側・東側緑地ゾーン

・全体の一体感と、移植樹を中心に彩りのある植栽計画とします。



花・紅葉・実 カレンダー

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
高木												
花												
実												
紅葉												
高木												
低木												

「青字」は(仮称)市民センター場計画樹木
「黒字」は福島市役所本庁舎既存樹木
「赤字」は移植樹木

2-13 昇降機設備計画

<基本的な考え方>

誰もが使いやすい昇降機とするため、ユニバーサルデザインを踏まえた昇降機仕様とします。

各昇降機の仕様は以下の表の通りとします。

区分	建物	(仮称)市民センター			立体駐車場棟	
	号機	1号機	2号機	3号機	4号機	
基本仕様	用途	乗用	人荷用	乗用	乗用	
	定員	15人	26人	13人	13人	
	積載荷重	1000Kg	1700Kg	900Kg	900Kg	
	速度	60m/min	60m/min	45m/min	45m/min	
	出入口寸法	900×2100	1200×2100	900×2100	900×2100	
	かご内寸法	1600×1500×2250	1800×2000×2250	1600×1350×2250	1600×1350×2250	
	停止箇所	1・2・3・4・5	1・2・3・4・5・PH	1・M2・2	1・2・3・R	
	意匠仕様	乗場	三方枠	ステンレスパイプレーション仕上げ(大枠)	ステンレスパイプレーション仕上げ(大枠)	ステンレスパイプレーション仕上げ(大枠)
幕板			ステンレスパイプレーション仕上げ	ステンレスパイプレーション仕上げ	-	-
戸			ステンレスパイプレーション仕上げ	ステンレスパイプレーション仕上げ	ガラス框戸 (框部:ステンレスパイプレーション仕上げ)	ステンレスHL仕上げ
EVの位置表示インジケータ			デジタル式	デジタル式	デジタル式	デジタル式
ホールランタン			大枠組み込み	大枠組み込み	-	-
押ボタン			インジケータ組み込み	インジケータ組み込み	枠組み込み	インジケータ組み込み
敷居			ステンレス製	ステンレス製	ステンレス製	ステンレス製
かご		天井	ガラスクロス光天井	ガラスクロス光天井	ガラスクロス光天井	標準タイプ
		壁	鋼板ダイノックシート貼り	鋼板ダイノックシート貼り	ステンレスパイプレーション仕上げ	鋼板仕上げ
		戸	ステンレスパイプレーション仕上げ	ステンレスパイプレーション仕上げ	ガラス框戸 (框部:ステンレスパイプレーション仕上げ)	ステンレスHL仕上げ
		袖壁	ステンレスHL仕上げ	ステンレスHL仕上げ	ステンレスHL仕上げ	ステンレスHL仕上げ
		巾木	ステンレスパイプレーション仕上げ	ステンレスパイプレーション仕上げ	ステンレスパイプレーション仕上げ	ステンレスHL仕上げ
		インジケータ	袖壁組み込み	袖壁組み込み	袖壁組み込み	ステンレスHL仕上げ
		操作盤	袖壁組み込み	袖壁組み込み	袖壁組み込み	ステンレスHL仕上げ
		床	石張り	石張り	石張り	ゴムタイル張り
		敷居	ステンレス製	ステンレス製	ステンレス製	ステンレス製
		保全カバー	無し	無し	無し	無し
		床マット	無し	無し	無し	無し
		その他	<ul style="list-style-type: none"> 公共建築工事標準仕様書 バリアフリー新法 誘導基準仕様対応 相互通話インターホン(中央管理室) 車いす兼用仕様付き、視覚障がい者対応 SUS製点字銘板付き オートアナウンス付き かご内手摺付き 高調波対策 耐震クラスA 管制運転(火災・地震(P・S波)・停電時自動着床装置) 遮煙性能乗場戸(全階) 	<ul style="list-style-type: none"> 公共建築工事標準仕様書 バリアフリー新法 誘導基準仕様対応 相互通話インターホン(中央管理室) 車いす兼用仕様付き、視覚障がい者対応 SUS製点字銘板付き オートアナウンス付き かご内手摺付き 高調波対策 耐震クラスA 管制運転(火災・地震(P・S波)・停電時自動着床装置) 遮煙性能乗場戸(全階) 	<ul style="list-style-type: none"> 公共建築工事標準仕様書 バリアフリー新法 誘導基準仕様対応 相互通話インターホン(中央管理室) 車いす兼用仕様付き、視覚障がい者対応 SUS製点字銘板付き オートアナウンス付き かご内手摺付き 高調波対策 耐震クラスA 管制運転(火災・地震(P・S波)・停電時自動着床装置) 遮煙性能乗場戸(2階のみ) 二方向出入口 	<ul style="list-style-type: none"> 公共建築工事標準仕様書 バリアフリー新法 誘導基準仕様対応 相互通話インターホン(中央管理室) 車いす兼用仕様付き、視覚障がい者対応 SUS製点字銘板付き オートアナウンス付き かご内手摺付き 高調波対策 耐震クラスA 管制運転(火災・地震(P・S波)・停電時自動着床装置) 遮煙性能乗場戸(全階)

3-1 構造計画概要

(1) 耐震安全性の分類および目標

(仮称)市民センターは市民交流機能を有しており、市民の安全・安心のよりどころとなる施設とします。また、市役所本庁舎の行政機能も一部有しております。さらに現在の避難所として指定されている市民会館と統合・複合化を図ることから、当該地区の「指定避難所」の役割も担います。これらの使われ方のほか、建物の規模等を総合的に判断し、免震構造とします。

「官庁施設の総合耐震・対津波計画基準 平成25年版」による耐震安全性の分類上、構造体はⅠ類、非構造部材はA類、建築設備は甲類となります。

立体駐車場棟は耐震補造とし、耐震安全性の分類上、構造体はⅢ類、非構造部材はB類、建築設備は乙類となります。

表 3-1 耐震安全性の分類

分類	活動内容	耐震安全性の分類		
		構造体	建築非構造部材	建築設備
災害応急対策活動に必要な施設	災害時の情報の収集、指令二次災害に対する警報の発令 災害復旧対策の立案、実施防犯等の治安維持活動 防犯等の治安維持活動 被災者への情報伝達 保健衛生及び防疫活動 救援物資等の備蓄、緊急輸送活動等	Ⅰ類	A類	甲類
		Ⅱ類	A類	甲類
災害応急対策活動に必要な施設	救護施設 被災者の救難、救助及び保護 救急医療活動 消火活動等	Ⅰ類	A類	甲類
		Ⅱ類	A類	甲類
避難所として位置づけられた施設	被災者の受け入れ等	Ⅱ類	A類	乙類
人命及び物品の安全性確保が特に必要な施設	危険物を貯蔵又は使用する施設	Ⅰ類	A類	甲類
		Ⅱ類	A類	甲類
	多数の者が利用する施設	Ⅱ類	B類	乙類
その他		Ⅲ類	B類	乙類

表 3-2 耐震安全性の目標

部位	分類	耐震安全性の目標
構造体	Ⅰ類	大地震動後、構造体の補修をすることなく建築物を使用できることを目標とし、人命の安全確保に加えて十分な機能確保が図られている。
	Ⅱ類	大地震動後、構造体の大きな補修をすることなく建築物を使用できることを目標とし、人命の安全確保に加えて機能確保が図られている。
	Ⅲ類	大地震動により構造体の部分的な損傷は生じるが、建築物全体の耐力の低下は著しくないことを目標とし、人命の安全確保が図られている。
建築非構造部材	A類	大地震動後、災害応急対策活動や被災者の受け入れの円滑な実施、又は危険物の管理のうえで、支障となる建築非構造部材の損傷、移動等が発生しないことを目標とし、人命の安全確保に加えて十分な機能確保が図られている。
	B類	大地震動により建築非構造部材の損傷、移動等が発生する場合でも、人命の安全確保と二次災害の防止が図られている。
建築設備	甲類	大地震動後の人命の安全確保及び二次災害の防止が図られていると共に、大きな補修をすることなく、必要な設備機能を相当期間継続できる。
	乙類	大地震動後の人命の安全確保及び二次災害の防止が図られている。

(2) 構造形式

1) (仮称)市民センター

大地震発生後、直ちに被災者の受け入れおよび活動支援が可能となる免震構造を採用します。市役所本庁舎と同様に、1階床下に免震層を配置する基礎免震構造とします。

低層階は大ホール等の市民交流機能を有しており、耐震要素(耐震壁)を設けられないため、純ラーメン構造とし、ラーメン架構で十分な剛性と耐力を確保する計画とします。

2) 立体駐車場棟

経済性に優れた耐震構造とします。駐車場であることから耐震要素(ブレース)を設けることが可能となるため、ブレース付きラーメン構造とします。

(3) 構造種別

1) (仮称) 市民センター

免震構造としての性能をより発揮できるよう、剛性の高い鉄筋コンクリート造（一部、鉄骨鉄筋コンクリート造）とします。

スパン方向（南北方向）の架構は、スパンが約 15.0m、7.0m、14.0m と鉄筋コンクリート造としては長大なスパン構成となるため、当該大梁は PC 鋼線によるプレストレスを導入したプレストレストコンクリート造（PC 造）を採用します。

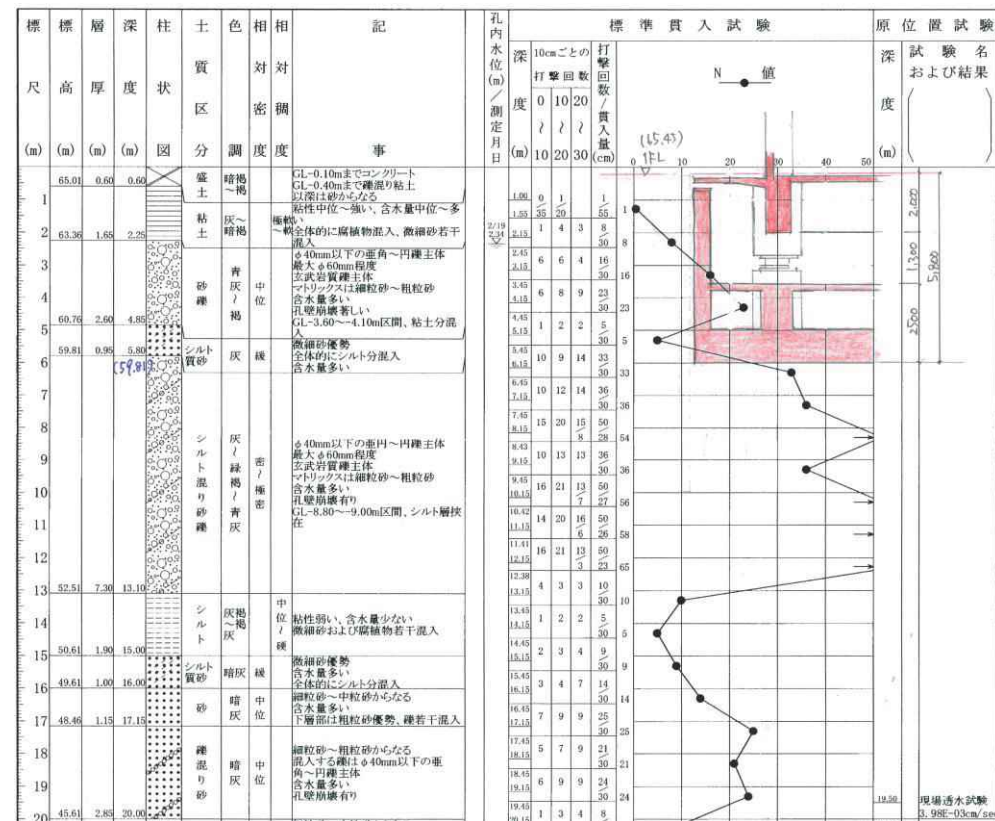
2) 立体駐車場棟

スパンの大きい架構に適した鉄骨造とします。

(4) 基礎構造

1) (仮称) 市民センター

市役所本庁舎と同様に、約 GL-5.8m 以深に存在する砂礫層を支持層とする直接基礎とします。



2) 立体駐車場棟

(仮称) 市民センターと同様に、約 GL-5.8m 以深に存在する砂礫層を支持層とする直接基礎とします。基礎底から支持地盤の間は、柱状改良にて置換します。

3-2 構造計画

(1) 使用材料

福島市行政系施設個別計画において市役所本庁舎の目標使用年数は 70 年とされています。(仮称) 市民センターも同等の使用年数を確保するために、計画供用期間の級は「長期」(目標使用年数: 100 年) とします。コンクリートの耐久設計基準強度は「建築工事標準仕様書・同解説 JASS5 鉄筋コンクリート工事」に基づき、30N/mm² とします。最終的なコンクリートの強度は、「耐力上必要な強度」と「耐久性上必要な強度」の大きい方を採用します。

(仮称) 市民センターおよび駐車場棟で使用する材料強度の一覧を表 3-3~3-6 に示します。

表 3-3 コンクリートの耐久設計基準強度

計画供用期間の級	計画供用期間	耐久設計基準強度(N/mm ²)
短期	30 年	18
標準	65 年	24
長期	100 年	30
超長期	200 年	36

表 3-4 鉄筋の材料強度

種類	鉄筋径	降伏強度(N/mm ²)	使用部材
SD295A	D16 以下	295	主要構造部材・二次部材
SD345	D19 以上 D25 以下	345	主要構造部材・二次部材
SD390	D29 以上	390	柱・梁
高強度せん断補強筋	D13 以上	785	柱・梁

表 3-5 鉄骨の材料強度

種類	降伏強度(N/mm ²)	使用部材
SS400	235	二次部材
SN400	235	主要構造部材
SN490	325	主要構造部材

表 3-6 PC 鋼材の材料強度

呼び名	規格	降伏荷重(kN)	使用部材
7本より 15.2mm	SWPR7BL	222	梁

(2) 設計用荷重

1) 主要室の積載荷重の設定

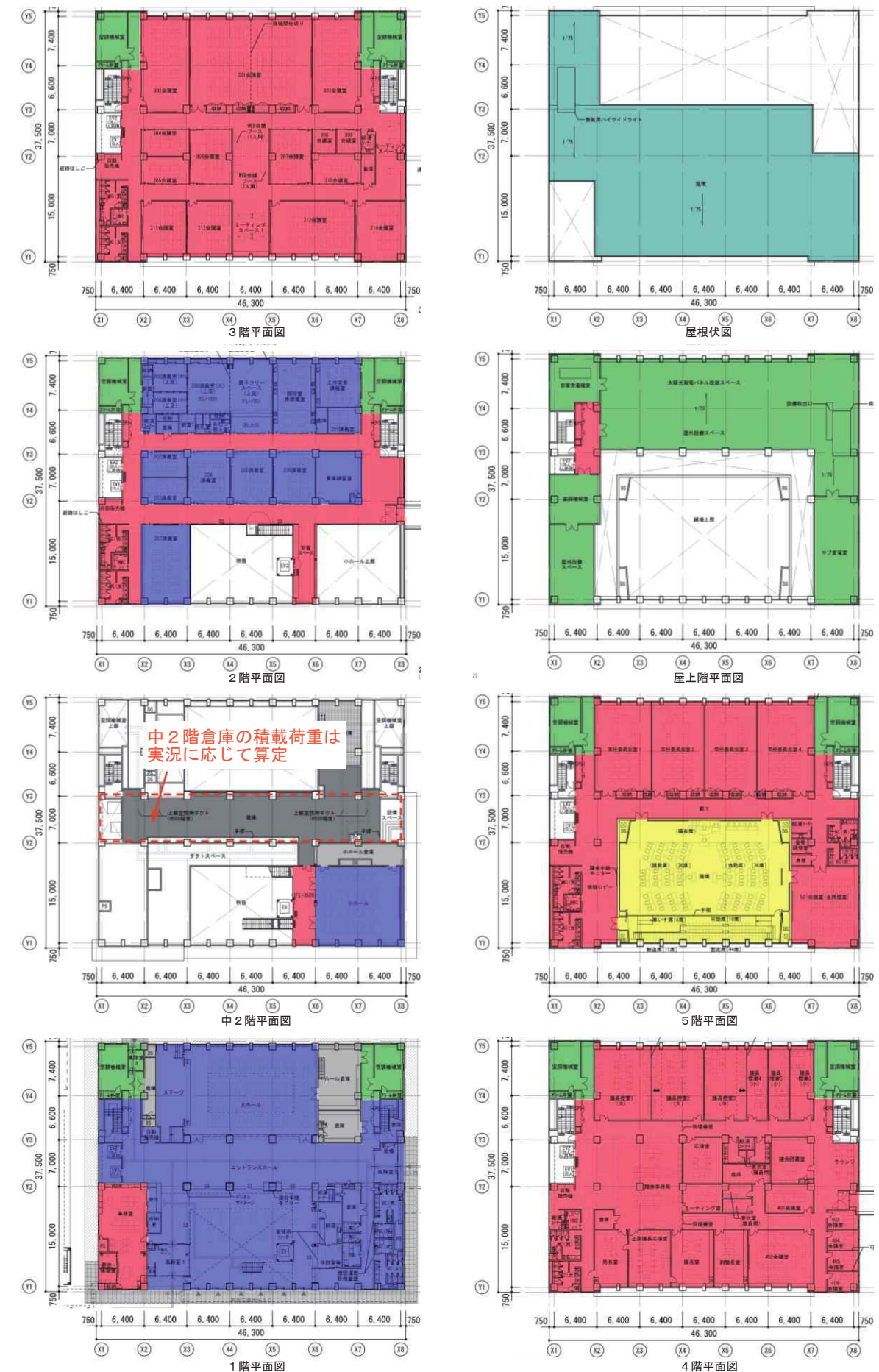
主要室の設計用積載荷重を表3-7に示します。主要室の積載荷重は「建築構造設計基準及び同解説」に準じます。

表3-7 設計用積載荷重

室名	床・小梁用 (N/m ²)	架構用 (N/m ²)	地震用 (N/m ²)	備考
屋根	1,000	600	400	建築構造設計基準の 屋上（通常人が使用しない） の値
機械室 屋外設備スペース	4,900	2,400	1,300	建築構造設計基準の 機械室の値*1
議場	2,900	2,600	1,600	令第85条の 集会場（固定席）の値
議会関連諸室	2,900	1,800	800	令第85条の事務室の値
会議室	2,900	1,800	800	令第85条の事務室の値
廊下、ラウンジ	2,900	1,800	800	令第85条の事務室の値
倉庫	7,800	6,900	4,900	建築構造設計基準の 一般書庫、倉庫の値
各講義室（2階）	3,500	3,200	2,100	令第85条の 集会場（その他）の値
エントランスホール	3,500	3,200	2,100	令第85条の 集会場（その他）の値
大ホール 小ホール	3,500	3,200	2,100	令第85条の 集会場（その他）の値
駐車場	5,400	3,900	2,000	令第85条の 自動車車庫及び自動車通路 の値*2

*1) 設備機器等は、実施設計において実況に応じて算定します。

*2) 立体駐車場棟に採用します。



2) 積雪荷重の設定

建築基準法施行令第86条により、以下の条件を元に計算します。

積雪単位重量： $\rho = 20$ (N/m²/cm)

垂直積雪量： $d = 50$ (cm)

積雪荷重： $S = 20 \times 50 = 1,000$ (N/m²)

3) 風荷重の設定

建築基準法施行令第87条により、以下の条件を元に計算します。

基準風速：30 (m/s)

地表面粗度区分：Ⅲ

レベル1として、再現期間50年相当の上記基準風速 ($V_0 = 30$ m/s) と設定し、風荷重を定めます。

レベル2として、再現期間500年相当の基準風速 ($V_0 = 1.25 \times 30 = 37.5$ m/s) と設定し、風荷重を定めます。

4) 地震力の設定

(仮称)市民センターの設計用せん断力は、レベル2地震動の時刻歴応答解析結果より設定します。設計用採用地震波は以下とします。

- レベル1地震動
 1. 実地震動記録波形として El-Centro-NS(1940)、Taft-EW(1952)、Hachinohe-NS(1968)の最大速度を25kineに基準化したもの
 2. 国土交通省告示第1461号に基づき、稀に起こる地震動として作成したもの
- レベル2地震動
 1. 実地震動記録波形として El-Centro-NS(1940)、Taft-EW(1952)、Hachinohe-NS(1968)の最大速度を50kineに基準化したもの
 2. 国土交通省告示第1461号に基づき、極めて稀に起こる地震動として作成したもの

立体駐車場棟の設計用せん断力は、建築基準法施行令第88条のAi分布に基づき計算します。

表3-8 地震荷重に対する設計クライテリア ((仮称)市民センター)

想定する地震動	項目	レベル1	レベル2
		稀に発生する地震動	極めて稀に発生する地震動
主架構	応答層間変形角	1/300以下	1/150以下
	部材応力	・RC、SRC、S部材 短期許容応力度以下 ・PC部材 応力の割り増しを考慮し、部材耐力以下	・RC、SRC、S部材 短期許容応力度以下 ・PC部材 応力の割り増しを考慮し、部材耐力以下
免震層	免震層に生じる変形	安定変形*1以下	性能保証変形*2以下
	積層ゴム支承の面圧	圧縮側：圧縮耐力以下 引張側：引張を生じさせない	圧縮側：圧縮耐力以下 引張側：引抜力が1.0N/mm ² 以下
	転がり支承	圧縮側：短期許容圧縮軸力以下 引張側：短期許容引張軸力以下	圧縮側：短期許容圧縮軸力以下 引張側：短期許容引張軸力以下
基礎構造	部材応力	短期許容応力度以下	短期許容応力度以下

*1) 安定変形：限界変形の1/2値以下とする。

*2) 性能保証変形：限界変形の3/4値以下とする。

(4) 免震部材

1) 検討方針

免震構造は、アイソレーター(支承材)とダンパー(減衰材)により構成します。

アイソレーターは上部構造を鉛直方向に支持すると共に、水平力に対しては水平方向の復元力を与える機構であり、原則として使用実績の多いアイソレーターとします。

ダンパーは、上部構造への入力エネルギーを吸収する役割を持ちます。ダンパーの選択はそれぞれの機構の特性を考慮して適切に行います。

2) 免震部材の選定

比較検討に用いる免震部材は、以下の実績が豊富で安定した特性を有する免震部材を選定し、経済性にも配慮した比較検討を行います。

- 天然ゴム系積層ゴムアイソレーター (NRB)
- 鉛(または錫)プラグ入り積層ゴムアイソレーター (LRB, SnRB)
- 弾性すべり支承 (SSR)
- 転がり支承 (CLB, SSB)
- 鋼材ダンパー (SD)
- オイルダンパー (OD)

4-1 設備計画の基本的な考え方

「災害に備えた設備」

「環境に配慮した設備」

「省エネルギー・省メンテナンスな設備」

「高度情報化時代への対応」

「防犯・防災システムの（仮称）市民センター・市役所本庁舎の一元的な設備」

（1）災害に備えた設備

- 1) 非常用発電機の設置
- 2) 耐震性貯水槽の設置

（2）環境に配慮した設備

- 1) 太陽光による発電装置と蓄電池の設置
- 2) 水素による発電装置の設置
- 3) 井水及び雨水の雑用水利用



耐震性貯水槽のイメージ



水素燃料電池のイメージ

（3）省エネルギー・省メンテナンスな設備

- 1) LED照明、昼光利用制御、在室検知制御の採用
- 2) 節水器具の採用
- 3) 外気冷房の採用
- 4) 全熱交換器の採用

（4）高度情報化時代への対応

- 1) 議会映像の発信が可能な議会システムの設置
- 2) Wi-Fiアクセスポイント及びデジタルサイネージ等の設置

（5）防犯・防災システムの（仮称）市民センター・市役所本庁舎の一元的な設備

- 1) 入退室管理、施設管理カメラなど、市役所本庁舎との連携した設備の設置
- 2) 防災設備（非常放送、自動火災報知設備、消火設備）の市役所本庁舎との連携した設備の設置



デジタルサイネージのイメージ

4-2 設備計画概要

(1) 電気設備概要

1	電力引込	市役所本庁舎の受変電設備より高圧分岐にて引込みサブ変電設備で受電 受電電圧：三相3線 6.6kV 50Hz 想定契約電力：600kW
2	サブ変電設備	受変電形式 屋内キュービクル型 変圧器： トップランナーモールド型 主遮断器：高圧真空遮断器 7.2kV 600A
3	自家発電設備	エンジン形式 ディーゼル 燃料 軽油（72時間対応） 発電機容量：三相3W 6.6kV 50Hz 200kVA 主燃料槽：地下埋設タンク 運転定格：始動時間40秒以内（停電から電力供給まで）
4	直流電源装置	長寿命型バッテリー（非常照明用 受変電操作電源用）
5	幹線動力設備	配電方式 エコケーブル+ケーブルラック 配電電圧（動力負荷）3Φ3W200V （電灯負荷）1Φ3W200V/100V
6	照明設備	執務室 照度750LX（昼光制御） 議場 照度1000LX 共用部 照度100~200LX（在室検知制御）
7	コンセント設備	0A電源容量50VA/m ²
8	構内交換設備	各機器までの配管、配線
9	拡声設備	非常・業務兼用型
10	テレビ共同受信設備	地上波デジタル・BS・CS
11	誘導支援設備	音声誘導システム、呼出インターホン
12	雷保護設備	外部・内部雷保護
13	入退室管理設備	風除室や連絡通路等各所にカードリーダー設置 市役所本庁舎中央監視装置に接続
14	施設管理カメラ設備	風除室や連絡通路等各所に施設管理カメラ設置 市役所本庁舎中央監視装置に接続
15	自動火災報知設備	自動火災報知設備、自動閉鎖設備 ガス漏れ警報設備、総合操盤設置
16	議会映像・音響設備	議会映像・音響設備、常任委員会室映像・音響設備
17	水素発電設備	水素燃料電池 3.5kW

(2) 空気調和換気設備概要

1	熱源設備	熱源方式	ガス+電気利用方式
		熱源機器 (市役所本庁舎設置済み)	ガス焼き冷温水発生機 空冷ヒートポンプチラーユニット
2	空調機器設備	蓄熱機器 (市役所本庁舎設置済み)	氷蓄熱槽
		空調方式	単一ダクト方式
		空調機器 主機器	空気調和機 外気処理空調機
		その他	パッケージ型空調機（EHP, GHP）
3	排煙設備	排煙方式	自然排煙
4	中央監視設備	システム	ビルマネージメントシステム

(3) 給排水衛生設備概要

1	給水設備	水源	市水、井水
		系統	上水（市水）、雑用水（井水）
		給水方式	高置タンク方式（市役所本庁舎設置済み）
2	給湯設備	給湯方式	個別方式
3	排水設備	排水方式	建屋内：汚水雑排水 分流式 建屋外：汚水雑排水 合流式、 雨水 敷地内最終桧まで分流
4	衛生器具設備	仕様	節水型器具
5	ガス設備	ガス種別	13A（福島ガス）
6	消火設備	設置設備	屋内消火栓設備、連結送水管設備 スプリンクラー設備

4-3 電気設備計画

(1) 構内配電線路

外灯設備

駐車場及びアプローチ動線を中心に外灯の設置を検討します。

照明方式としては、駐車場部分をポールライトで構成し、防犯性を高める計画とします。また、アプローチ動線は、ガーデンライト及びフットライトにて建築との調和に配慮するとともに太陽光発電を用いた外灯を設置することなども検討します。

(2) 受変電設備

本計画は屋上階サブ変電室にサブ変電設備を設置し、共同溝を経由して市役所本庁舎10階の受変電設備から高圧ケーブルで接続する計画とします。

サブ変電室は、増設スペース、メンテナンス通路、搬出搬入スペースを確保することなど保守点検等を考慮した計画とします。

サブ変電設備の主な仕様

- 1、形 式：屋内キュービクル式
- 2、1次側系統：AC系統・AC-GC系統(2系統)
- 3、主遮断器：高圧真空遮断器 7.2kV 600A
- 4、変圧器種別：モールド型(トッランナー型)
- 5、変圧器容量：1000kVA(想定)
- 6、コンデンサ：低圧コンデンサ<3ΦTr 低圧側に設置>
- 7、積算電力計：各バンクに管理用として設置
- 8、制御・表示電源：サブ変電設備用直流電源装置より供給
- 9、自家発回路選択
保安負荷低圧配電盤には、自動切替え開閉器(MC-DT)を設置します。また、一般停電時(非火災時)における保安負荷は、低圧配電盤電磁接触器での選択遮断が可能な回路構成とします。
- 10、契約電力：500kW(想定)

(3) 自家発電設備

屋上階自家発電機室に自家発電設備を設置し必要負荷に給電する計画とします。

主な仕様

- 1、用 途：非常用予備電源
- 2、形 式：屋内キュービクル式
- 3、エンジン仕様：ディーゼル型
- 4、発電機仕様：3Φ3W6.6kV50Hz 200kVA(想定)
- 5、燃料・運転時間：軽油・72時間以上
- 6、主燃料槽：地下埋設タンク 3000ℓ(新設)

7、運 転 定 格：始動時間 40 秒以内(停電から電力供給まで)長時間運転定格

8、騒 音：機側 1m にて約 85dB(A)

9、電 源 供 給 負 荷

防災負荷(消火ポンプ類・直流電源装置<直送回路>)

保安負荷(給排水ポンプ類・常用EV・直流電源装置<整流器回路>)

重要負荷(ネットワーク機器類・防災関連機器等)

(4) 静止型発電設備

1) 直流電源設備

建築基準法及び官庁施設の総合耐震設計基準に基づき停電時の非常照明や受変電設備の表示、操作電源として、屋上階サブ変電室に設置します。蓄電池容量は、非常用発電機によるバックアップ方式の採用を検討します。また、蓄電池はメンテナンスフリー及び長寿命の特性から、MSE(長寿命型)を採用します。

主な仕様

- 1、用 途：非常照明用・受変電設備操作表示/自家発電装置操作表示用
- 2、形 式：屋内キュービクル式
- 3、蓄電池：MSE長寿命型
- 4、容 量：サブ変電/自家発用 50Ah 非常照明用 100Ah(想定)

(5) 高圧幹線設備

市役所本庁舎の受変電設備からサブ変電設備まで高圧幹線を布設します。

主な仕様

- 1、ケーブル種別：6kV-CET/F 60°
- 2、系 統 数：2系統(AC系統・AC-GC系統)

(6) 電灯設備

1) 電灯幹線

サブ変電設備より、各電灯分電盤及び0A分電盤へ至る幹線をケーブル+ケーブルラック主体で布設します。電力用EPSは2ヶ所に分けることにより幹線の集中化を避け保守管理に配慮する計画とします。

幹線系統種別

- 1、一般電灯幹線：停電において機能停止しても支障の無い負荷用幹線(AC系統)
- 2、保安電灯幹線
停電時の機能維持、継続を目的とした保安電灯負荷への電源供給用幹線(AC-GC系統)
- 3、防災電灯幹線：建築基準法、消防法に定められた防災負荷への電源供給用幹線(AC-GC系統)
- 4、最重要電灯幹線
重要端末及び防災無線機器等の無瞬断電源用幹線(AC-GC系統+UPS)

幹線の主な仕様

- 1、用途ケーブル種別：600V-CET/F or CE/F
- 2、布設方法：ケーブルラック方式

2) 照明設備

- 1、配電方式：1Φ3W 210/105V
- 2、照度基準
国土交通省「建築設備設計基準」等を参考とします。
- 3、照明器具種別
高効率なLED照明器具を主体とし、省エネルギー・長寿命化を考慮します。
- 4、点滅方式
各室または各ゾーンに照明スイッチを設置します。事務室に照明制御盤の設置を検討します。
- 5、省エネ手法
各種センサー制御による減光及び調光制御やプログラムタイマー制御を可能とします。

場所	制御方式	省エネ手法
執務エリア	照度センサー	外光利用・初期照度補正
湯沸室・トイレ	在室検知	無人時消灯
外灯	プログラムタイマー+センサー	深夜消灯など

- 6、非常照明
建築基準法に基づき設置します。直流電源装置が設置されることから、非常照明器具は電源別置型を採用します。
- 7、誘導灯
消防法に基づき設置します。火災時など避難上有効でかつ障がいのある方支援の一環として誘導音・誘導点滅を採用します。

3) コンセント設備

- 1、供給方式：コンセント1φ200V・100V
0Aタップ（フリーアクセスフロアー）・壁コンセント主体
用途により色分けを行う（詳細は今後の検討とする）

(7) 動力設備

各機械室等に設置の動力制御盤より、空調・衛生機器へ電源供給及び制御を行う。配線方式はケーブル+ケーブルラックを主体とします。

(8) 構内交換設備

市役所本庁舎9階のMDF及び電話交換機へ接続し、市役所本庁舎との内線通話及び局線通話を可能とします。

(9) 拡声設備

市役所本庁舎1階中央監視室の放送設備に接続し、非常放送及び呼出放送、BGMなどの業務放送を目的とした全館放送設備を計画します。

(10) テレビ共同受信設備

市役所本庁舎1階中央監視室のヘッドエンド装置から引込み、各TV取出口まで配管配線を布設します。

(11) 誘導支援設備

視覚障がいのある方、聴覚障がいのある方に配慮した下記誘導支援システム設備を検討します。

1) 視覚障がいのある方向け来庁者音声ガイドシステム

障がいのある方が携帯する小型送信機と建物側に設置する専用アンテナ及びスピーカから構成されます。小型発信機が建物入口に近づくと発信音を送出され、送信機のボタンを押すことにより、案内音声が発音機から送られます。

設置場所は各階トイレ前とします。

2) インターホン設備

時間外および障がいのある方対応のため、風除室にインターホン子機を設置します。親機は1階事務室に設置します。

(12) 雷保護・接地設備

1) 雷保護設備

建築基準法に基づき市役所本庁舎と同等性能を確保します。

2) 接地設備

電気設備技術基準上の保安接地(E_A・E_B・E_D)、機能用接地、雷保護用接地を計画するが、原則として等電位ボンディングの考え方に則った接地システムを構成します。市役所本庁舎と連絡通路で連結している点及び免震層が存在する点を考慮した計画とします。

(13) 自動火災報知設備

消防法・建築基準法に基づき、自動火災報知設備、自動閉鎖設備及びガス漏れ警報設備等を設置します。受信機を1階事務室に設置し、市役所本庁舎1階中央監視室の総合操作盤に接続し連係します。

1) 受信機

複合GR型受信機・防災盤組込(1階事務室)

2) 連動機能

1、階別信号

非常放送設備/照明制御装置/誘導灯信号装置/電気錠制御盤(入退室管理装置)等

2、一括信号

ELV制御盤/受変電設備等

3) 主要感知器

1、煙感知器

光電式スポット型感知器(自動試験機能/アドレス式)

2、熱感知器

差動式スポット型感知器(自動試験機能/アドレス式)

定温式スポット型感知器(自動試験機能/アドレス式)

3、連動用感知器

光電式スポット型感知器(自動試験機能)

差動式スポット型感知器(自動試験機能)

定温式スポット型感知器(自動試験機能)

(14) 入退室管理設備

関係者の入退室管理、建物内及び重要諸室への不法侵入防止等セキュリティ対策の観点から、入退室管理設備を検討します。1階各風除室にカードリーダーを設置して出退勤の管理を可能とする他、階段や連絡通路の扉にカードリーダーを設置し、議会エリアや行政エリアの市民利用可能時間外の出入りを管理可能な計画とします。

(15) 防犯設備

1) 施設管理カメラ設備

不特定多数の人々が入り出る施設として、風除室、連絡通路等を管理・録画できる設備を計画します。

設置場所：風除室、連絡通路、その他死角となる箇所

2) 機械警備用配管設備

機械警備による制御盤およびセンサー類の設置を想定し、空配管を敷設します。

(16) 駐車場管制設備

出庫警告表示灯、満空車表示設備等の設置を計画します。

(17) 議場映像・音響設備

議事の進行が円滑に行われ、正確な記録が可能なシステムを構築します。

会議ユニット(マイク・アンプ・スピーカー一体)を利用したシンプルなシステム構成とします。

主な仕様

- 1) 操作卓：マイク操作・録音操作・発言残時間操作・出席議員数操作・電子投票操作など
- 2) カメラ：マイク操作と連動し、発言者の自動追尾機能
- 3) 会議ユニット：各議員席にマイク・スピーカー・電子投票スイッチなどを組み込む

4) 議場表示装置：出席議員数・発言残時間などの表示

5) 議場中継装置：議場映像を中継表示

(18) 委員会室映像・音響設備

室内拡声を高い明瞭度で行うとともに、会議内容を録音できる設備を設置します。

主要機器概要

- 1) 委員(議員)席：マイク・スピーカー一体型の有線マイクユニット
- 2) 当局席：ワイヤレスマイク+卓上スタンド
- 3) 映像設備：70インチ移動型モニター 2台(各室で共用)
- 4) 音響設備：移動式ワゴンにマイク用アンプや録音装置を組み込む

(19) その他の映像・音響設備

1) 会議室音響設備

ホールや会議室等に音響設備を設置します。会議室は一般開放も考慮した計画とします。

(20) 太陽光発電設備

太陽光モジュールを屋上へ設置し再生可能エネルギーを活用するとともに省エネルギーを図ります。

機器仕様

- 1) 発電容量：20kW
- 2) パネル角度：30° 自立型
- 3) パワーコンディショナ容量：10kW×2台
- 4) 蓄電池：10kW×2台

(21) 水素発電設備

再生可能エネルギーの活用のため、水素燃料電池の設置を検討します。

機器仕様(参考)

- 1) 発電容量：3.5kW
- 2) 燃料容量：水素カードル 300 m³未満

4-4 空気調和換気設備計画

(1) 熱源機器設備

熱源機器は市役所本庁舎に既に設置しているガス焚き冷温水発生機と、空冷ヒートポンプチラーユニット+氷蓄熱による中央熱源設備からの供給とします。熱源供給は、冷水、温水を切替供給する2管式とし、共同溝を介して（仮称）市民センターへ供給する計画とします。

(2) 空調設備

1, 2階の市民交流スペースは市民への貸出し等を考慮して、多様な利用による部分負荷に応じた空調が可能な方式とし、個別空調とします。空調方式は災害時に非常用発電機による稼働が可能な、電気式空冷ヒートポンプパッケージ方式を計画します。

3階（市民兼用会議室機能）は会議室が多数あるため、部分負荷に応じた空調が可能な方式とします。空調方式はランニングコストに優れたガス式空冷ヒートポンプパッケージ方式を計画します。

4, 5階の議会機能は市役所本庁舎の熱源からの中央式熱源方式とし、冷温水による空気調和機による単一ダクト方式による空調を計画します。

(3) 床暖房設備

市役所本庁舎と同様に1階に設置します。エントランス系統とホール部で系統分けし、エントランス系統は床暖房主体での暖房が可能な設備とし、ホール部は免震層ピットからの熱侵入を防止する程度の床暖房を計画します。

(4) 換気設備

機械換気設備を主とし、用途に応じて第1種換気設備（給排気とも機械）、第2種換気設備（給気機械、排気自然もしくは他の室への流）、第3種換気設備（給気自然 もしくは他の室からの流入、排気機械）の設置を計画します。

第1種換気系統 — 居室、機械室 等

第3種換気系統 — 便所、湯沸し 等

居室の換気について、1, 2, 3階は冷温水による外気処理空気調和機による単一ダクト方式による換気とし、4, 5階は空気調和機による単一ダクト方式による換気とします。

(5) 自動制御設備

中央監視装置は市役所本庁舎1階中央監視室に設置してあるため、（仮称）市民センターの管理も一括して行えるように改修する計画とします。

(6) 災害時利用計画

避難所となる1, 2階は災害時に空調、換気の対応を計画します。空調は電気式空冷ヒートポンプパッケージ方式とし、非常用発電機による電源供給とします。換気は市役所本庁舎の空冷ヒートポンプチラーユニット1台と冷温水ポンプ1台を新たに非常用発電機系統に改修し、外気処理空気調和機を稼働する計画とします。

4-5 給排水衛生設備計画

(1) 給水設備

建物内給水設備は上水と雑用水の2系統とし、雑用水は便器洗浄水、植栽散水への使用の計画とします。

市役所本庁舎に設置している既存の上水及び雑用水高置水槽から重力方式により、共同溝を介して(仮称)市民センターへ供給する計画とします。

(仮称)市民センター敷地内には耐震性を備えた耐震性貯水槽を設置します。

(2) 排水設備

建物内排水系統は、汚水、雑排水、厨房排水、機器排水の4系統とし、公共下水道に放流する計画とします。また、屋外雨水排水系統は、敷地内に雨水貯留浸透施設を設け雨水の地中還元をはかる計画とします。

(3) 給湯設備

給湯は個別方式を基本とし、貯湯式電気温水器を必要各所に設置する計画とします。

(4) 衛生器具設備

衛生器具は必要に応じた器具数を設置し、節水型器具を基本とします。

また、バリアフリーを考慮した計画とします。

非接触型に対応した衛生器具を採用する計画とします。

(5) 都市ガス設備

空調設備の熱源として都市低圧ガスを供給し、市役所本庁舎とは別に引込を計画します。

(6) 消火設備

消防法、その他関連法規に準拠した消火設備を設置します。

本建物は消防法別表1項(集会場)と15項(事務所)の複合用途に相当します。

- ・消火器
- ・屋内消火栓設備
- ・スプリンクラー設備
- ・連結送水管設備

(7) 厨房器具設備

1階、軽食・カフェ厨房用を想定した、厨房機器を設置します。

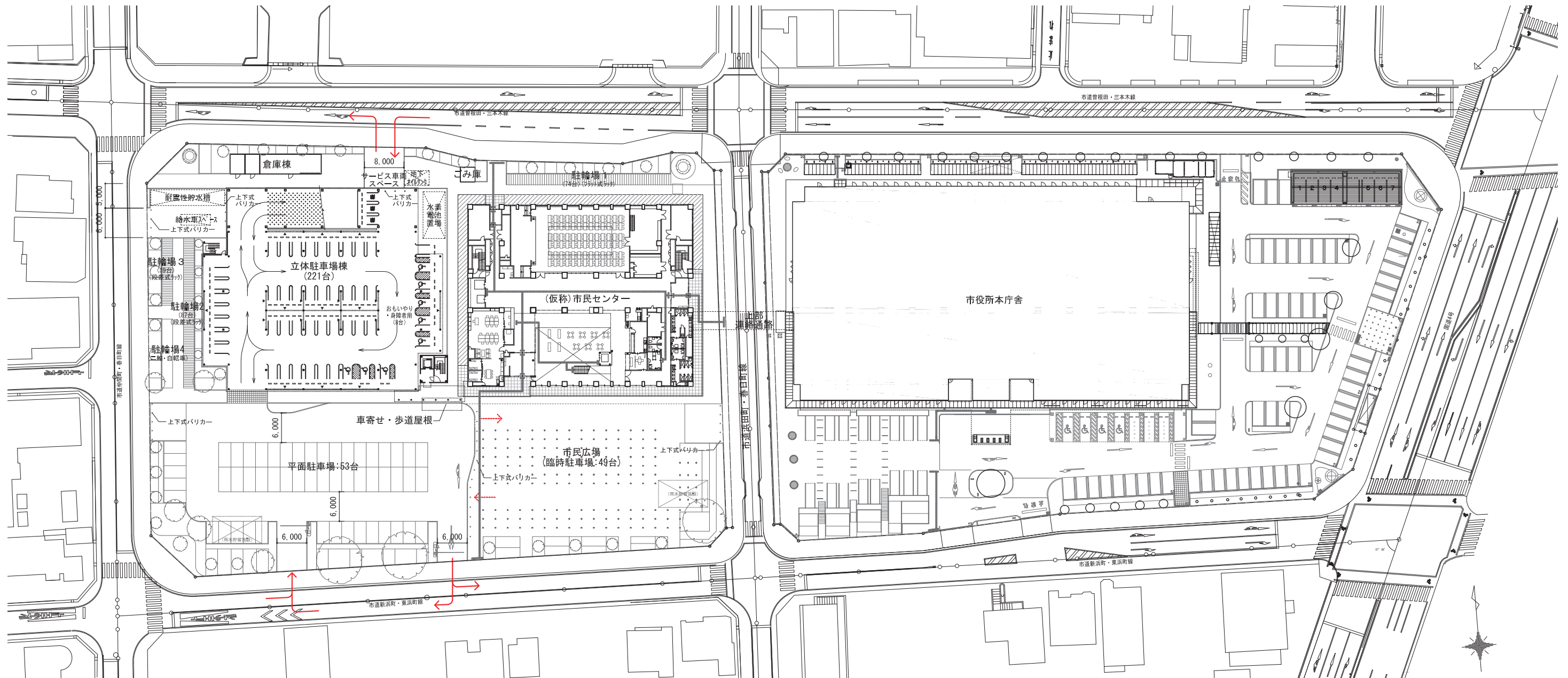
また、グリース阻集器の設置を検討します。

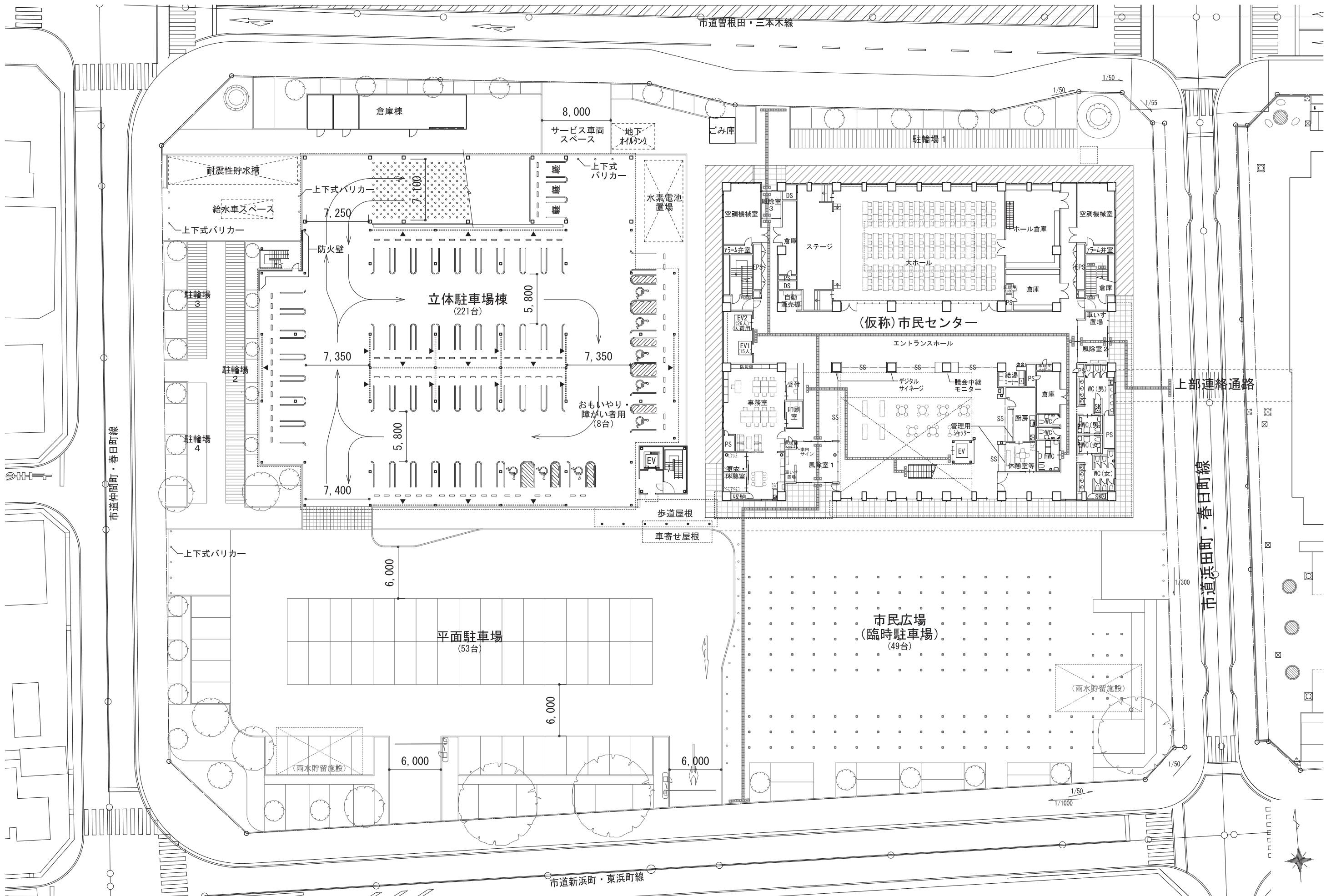
(8) 灌水設備

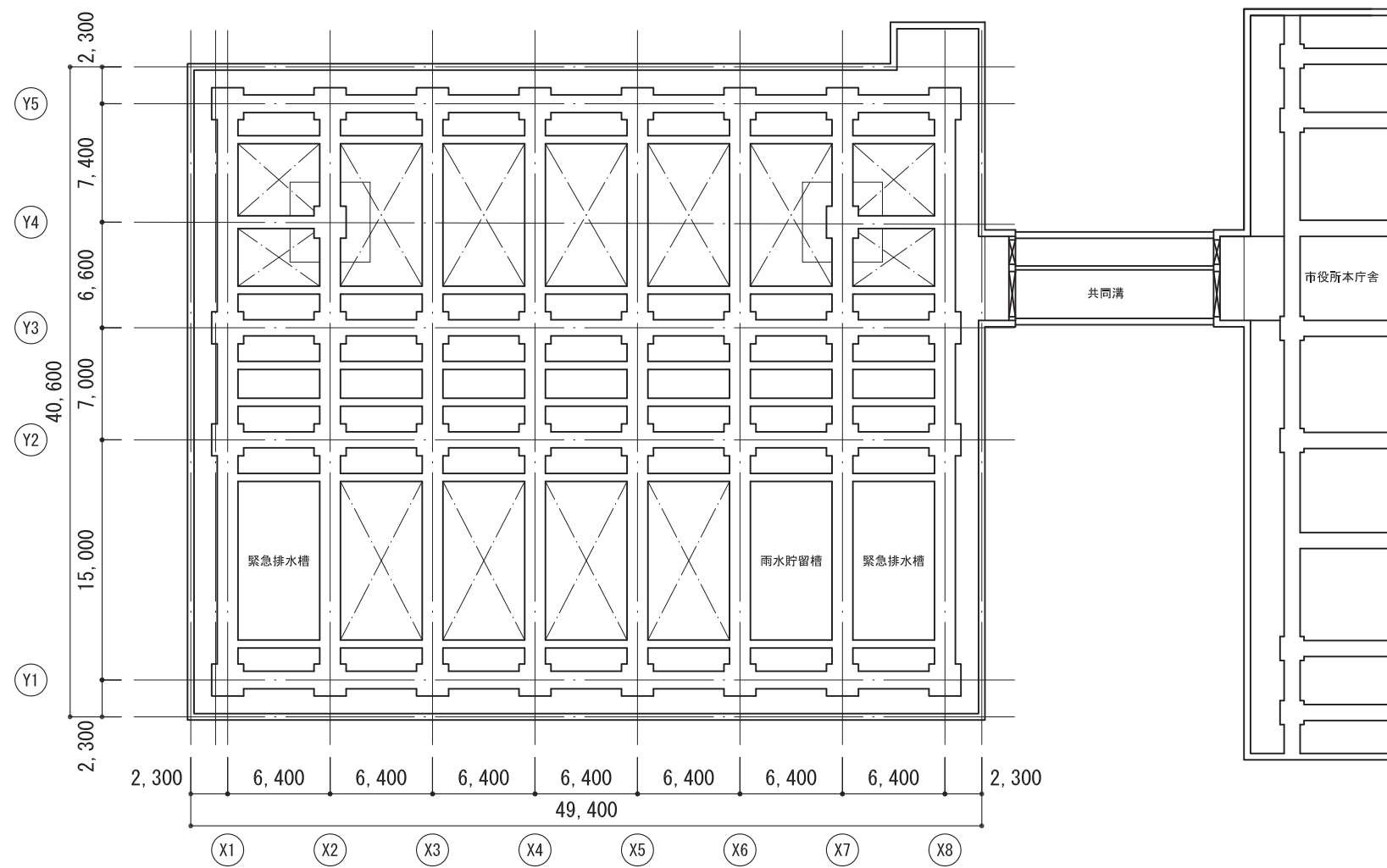
敷地内植栽散水用として、自動灌水設備の設置を検討します。

(9) 災害時利用計画

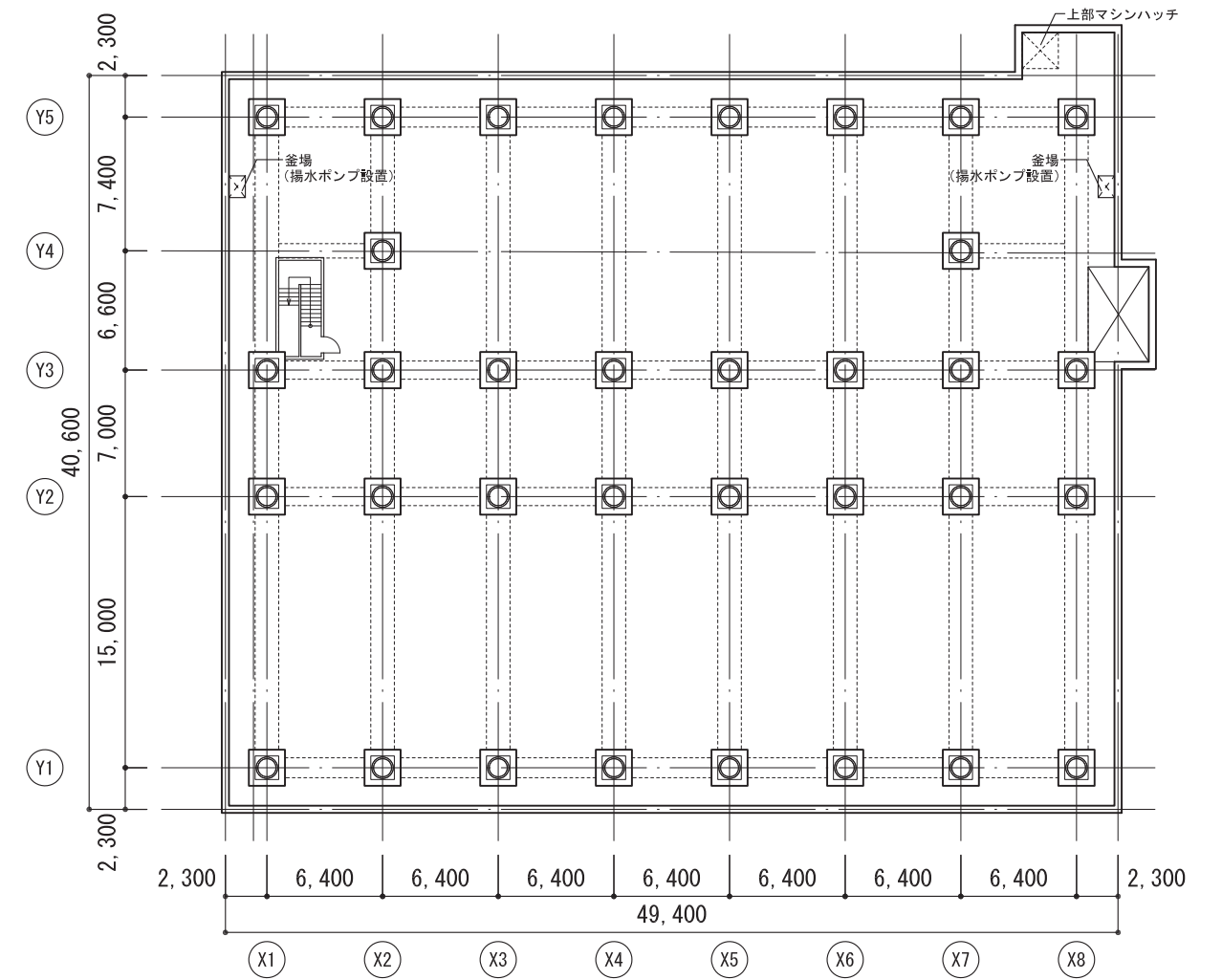
災害時には市役所本庁舎に既に設置しており、非常用発電機系統となっている、井水ポンプ、給水ポンプを稼働し、(仮称)市民センターへ供給します。また、災害時はピットの一部を汚水貯留槽として用いることが可能となるように計画します。





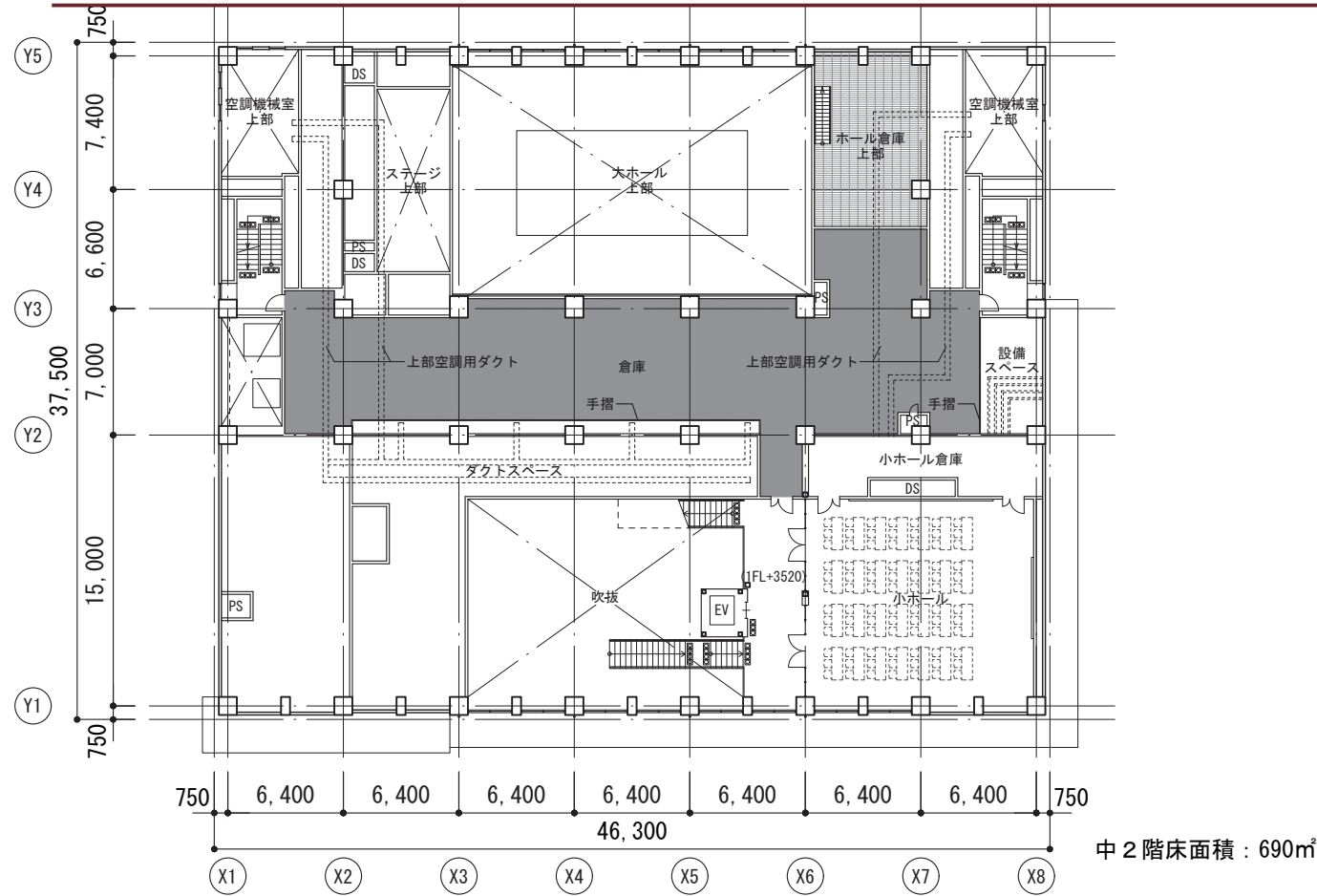


ピット平面図

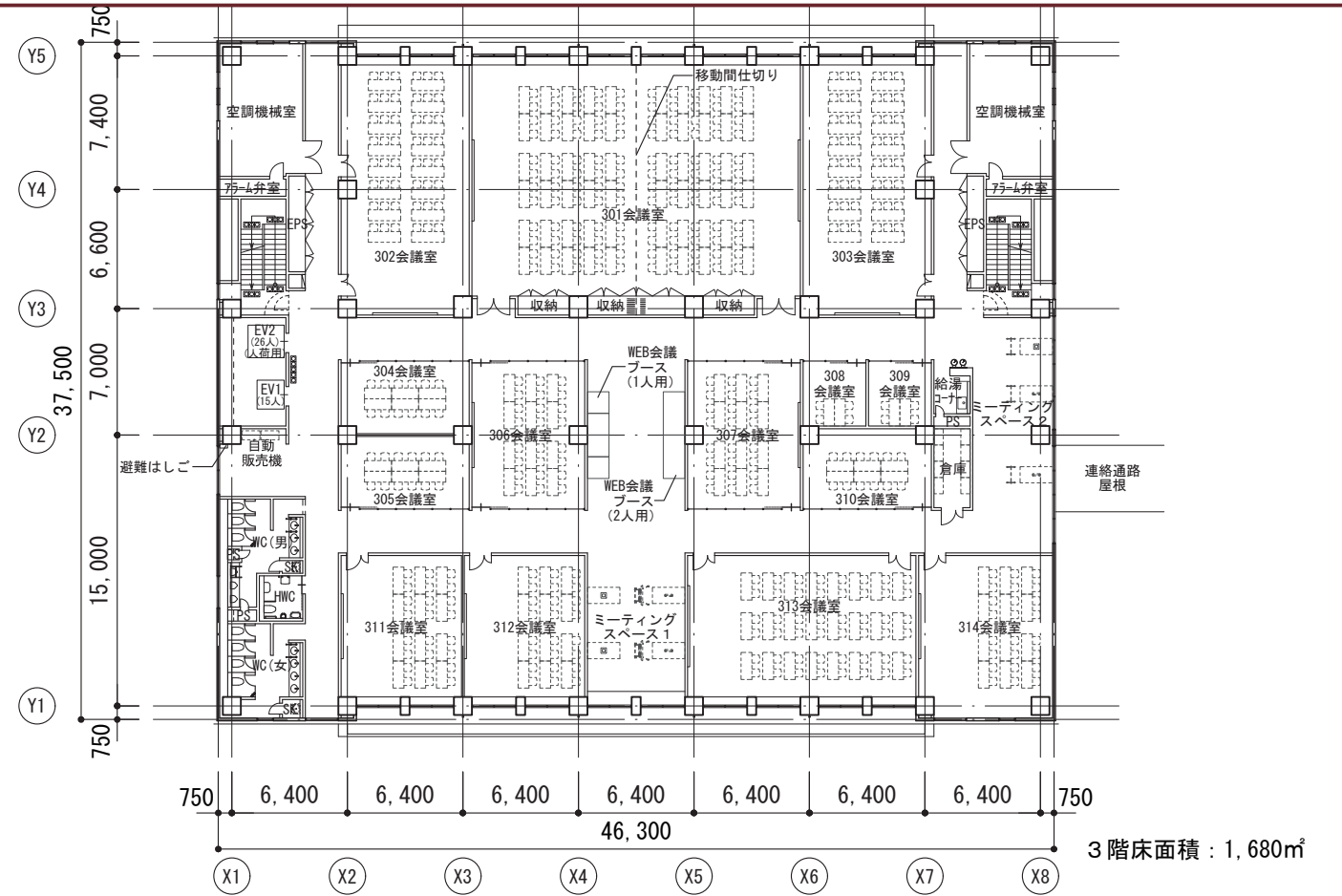


免震層平面図

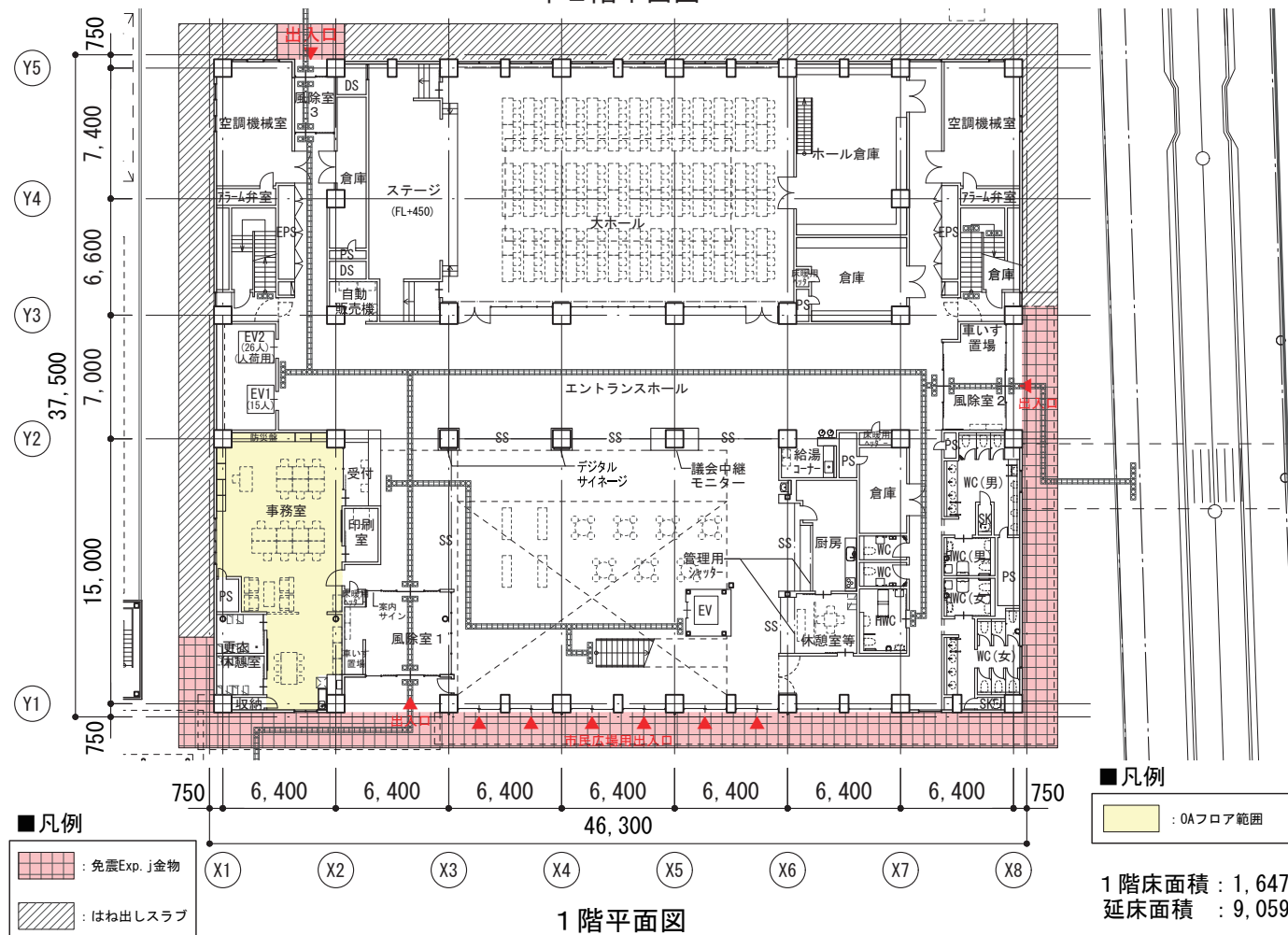




中2階平面図



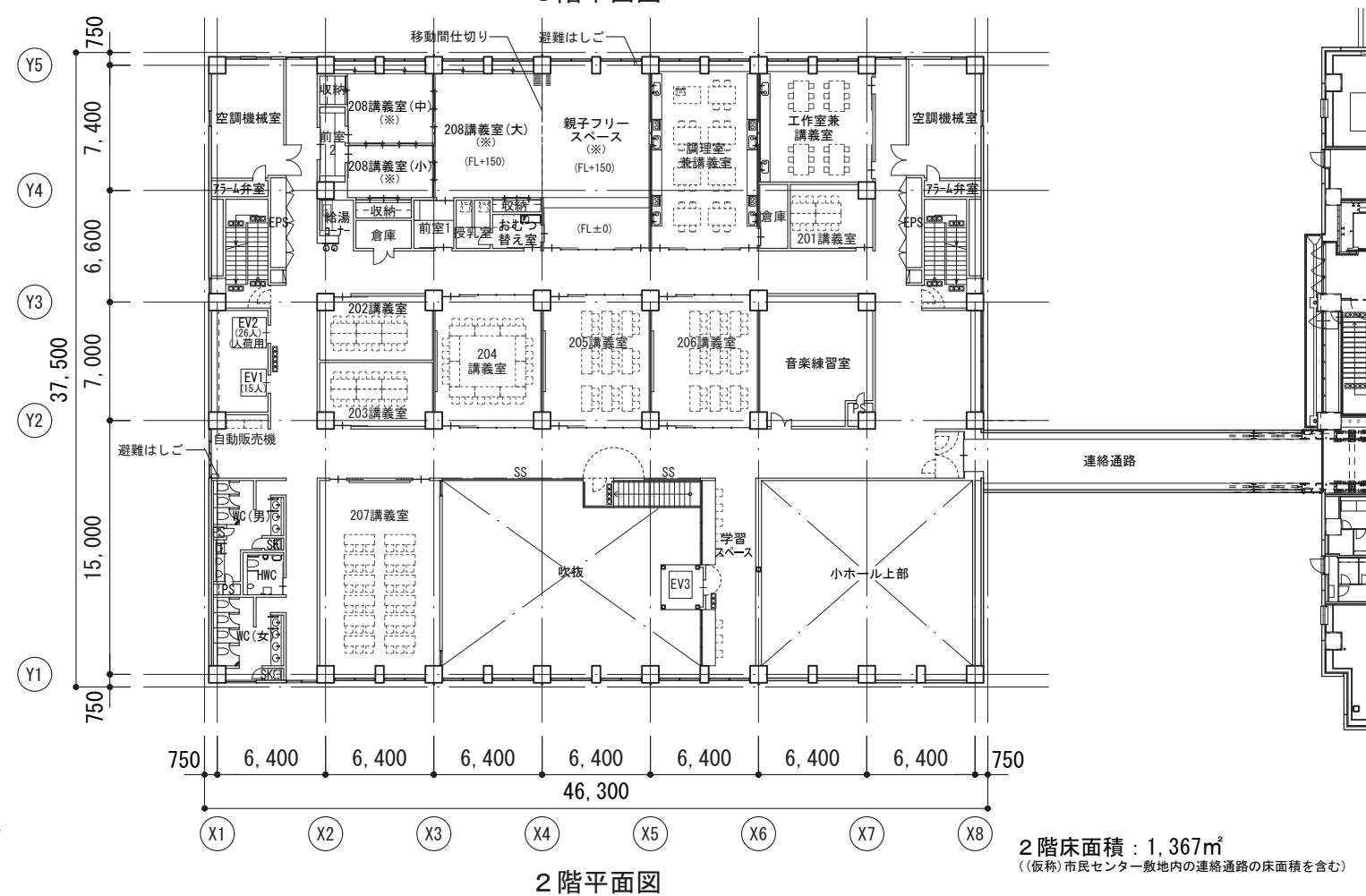
3階平面図



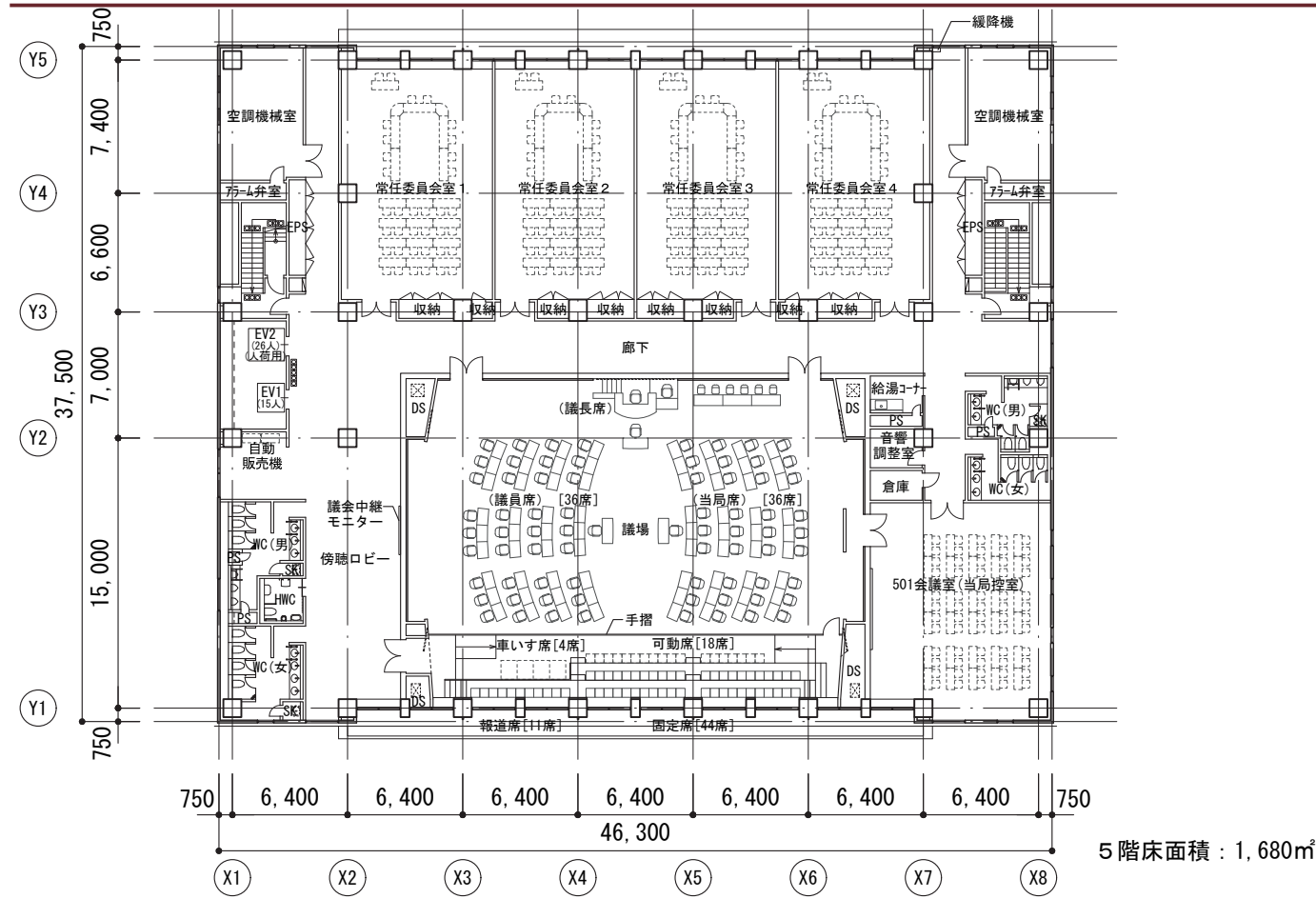
1階平面図

- 凡例
- 免震Exp. j金物
 - はね出しスラブ

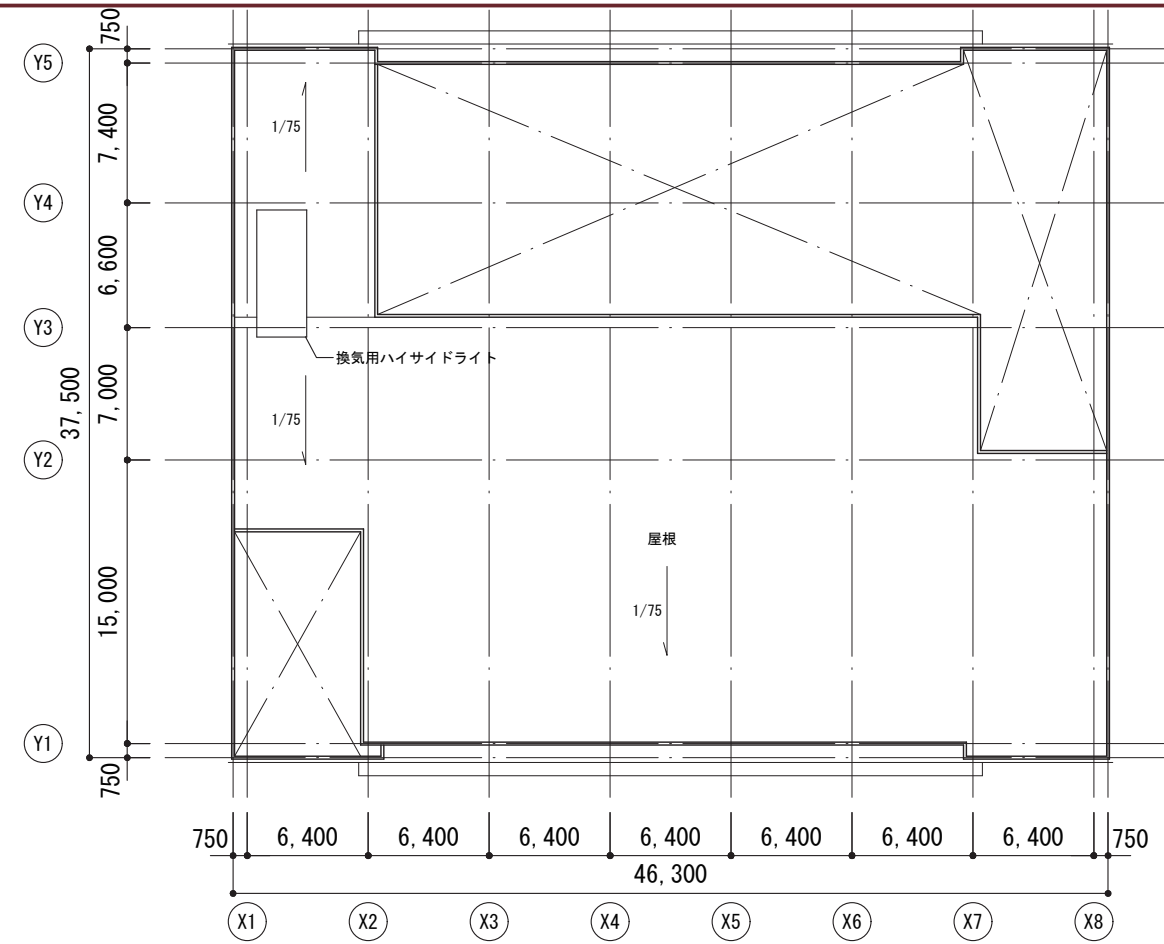
- 凡例
- OAフロア範囲



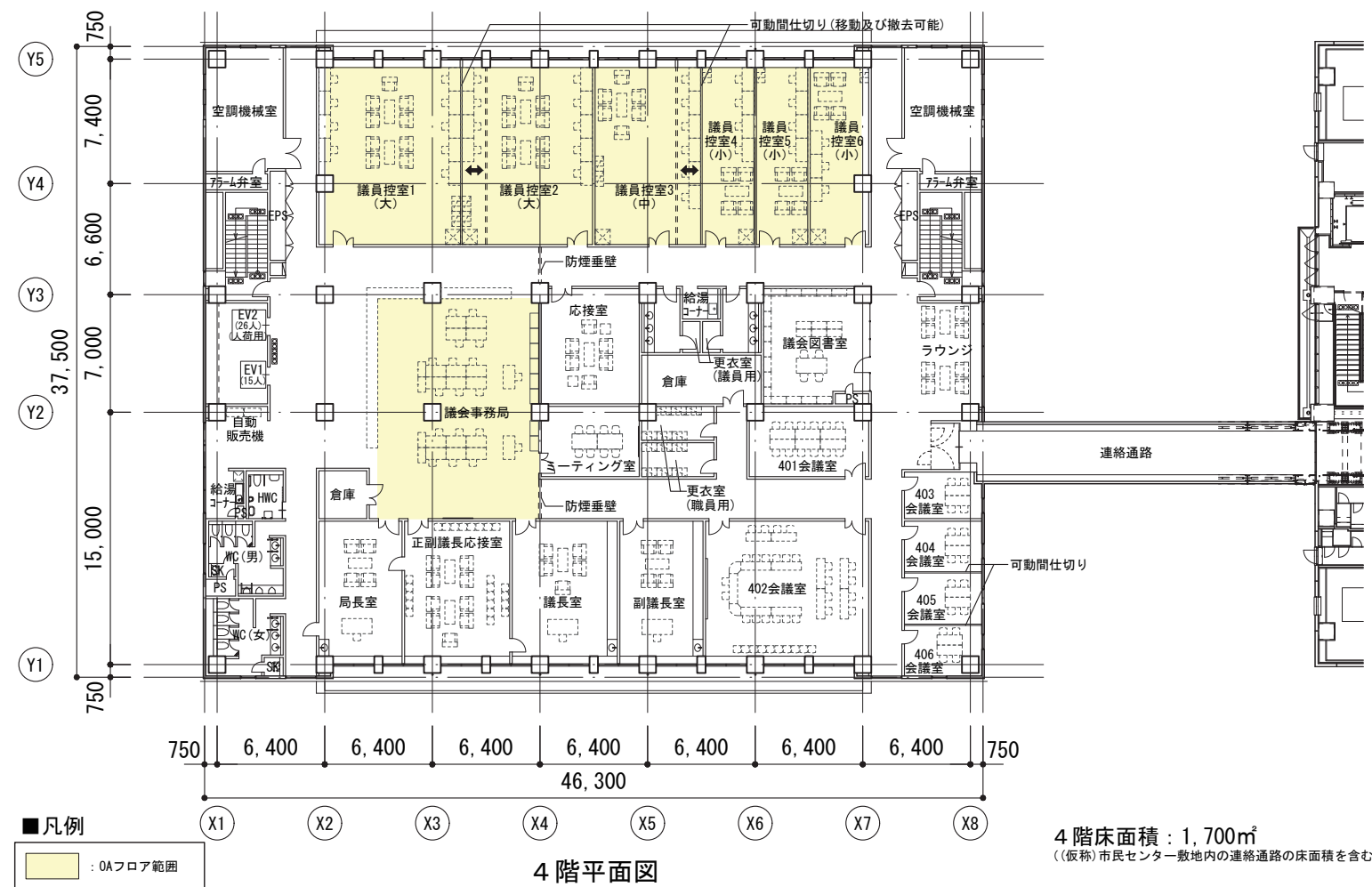
2階平面図



5階平面図

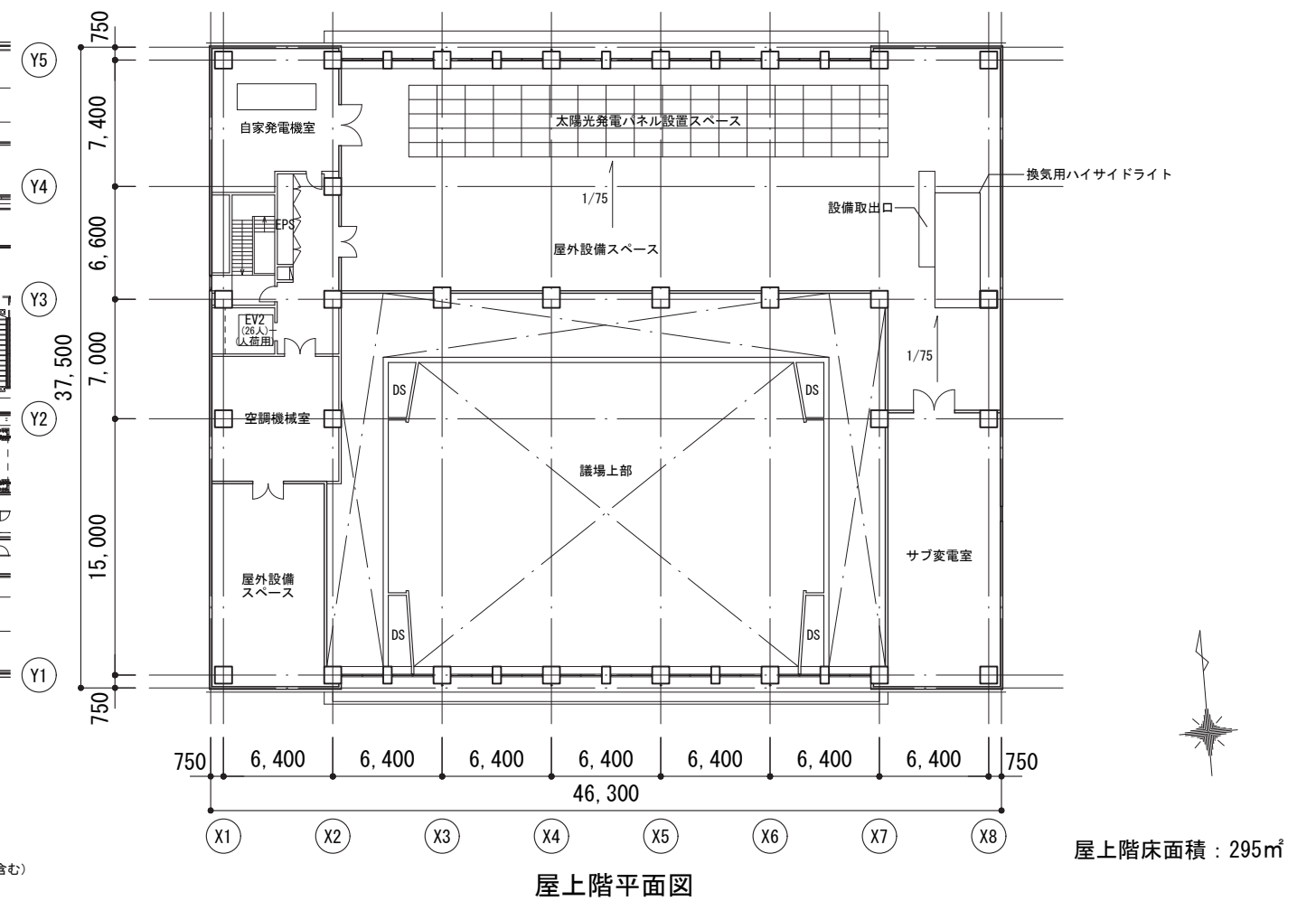


屋根伏図

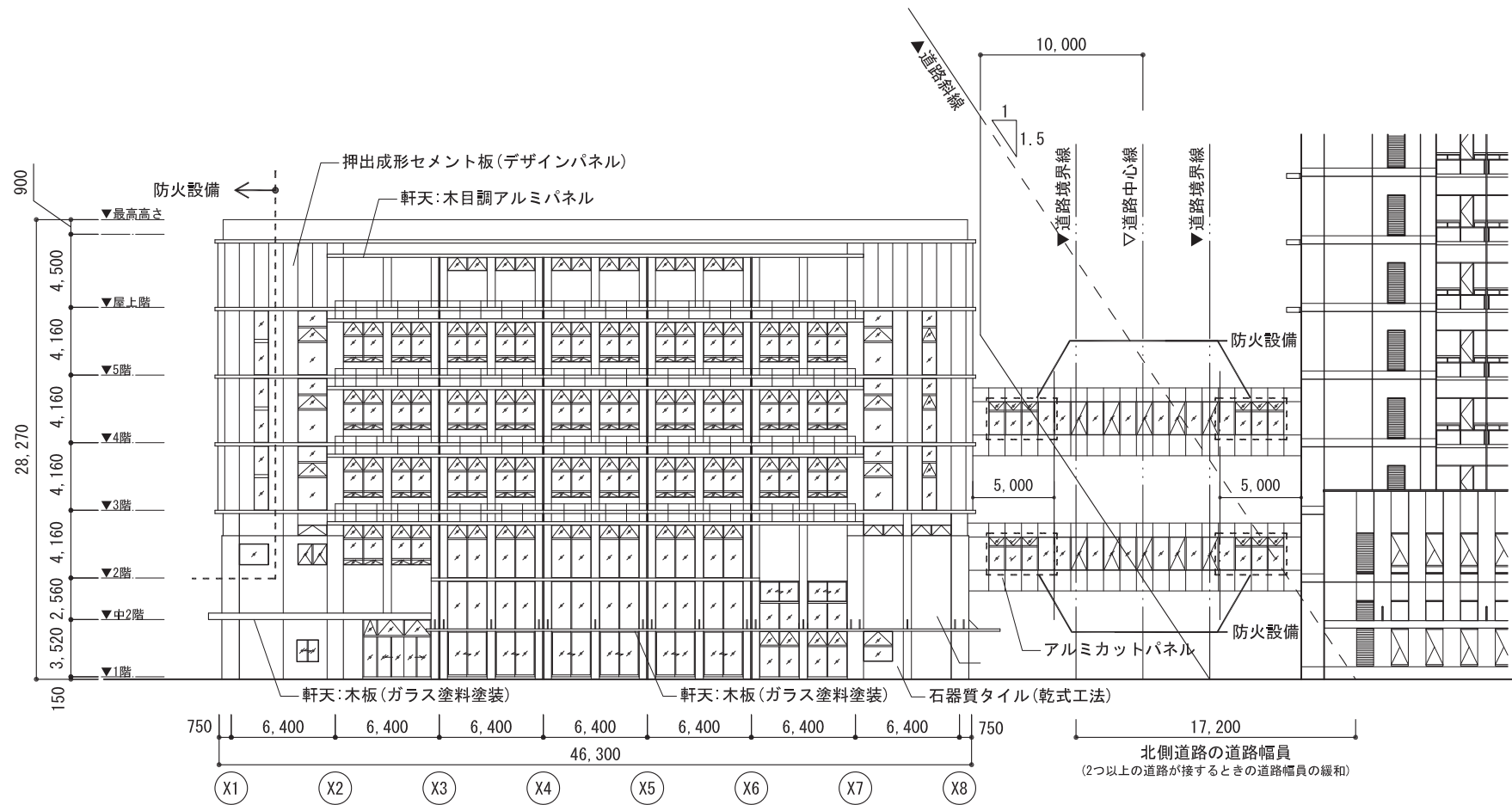


4階平面図

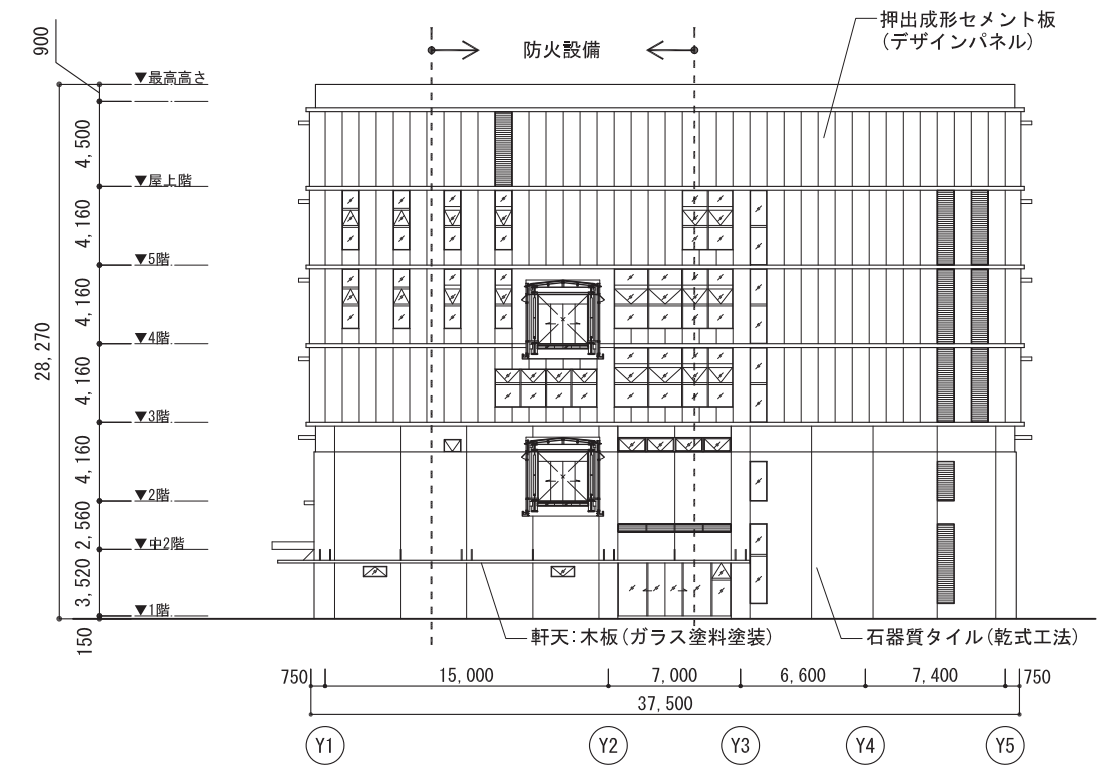
- 凡例
- OAフロア範囲



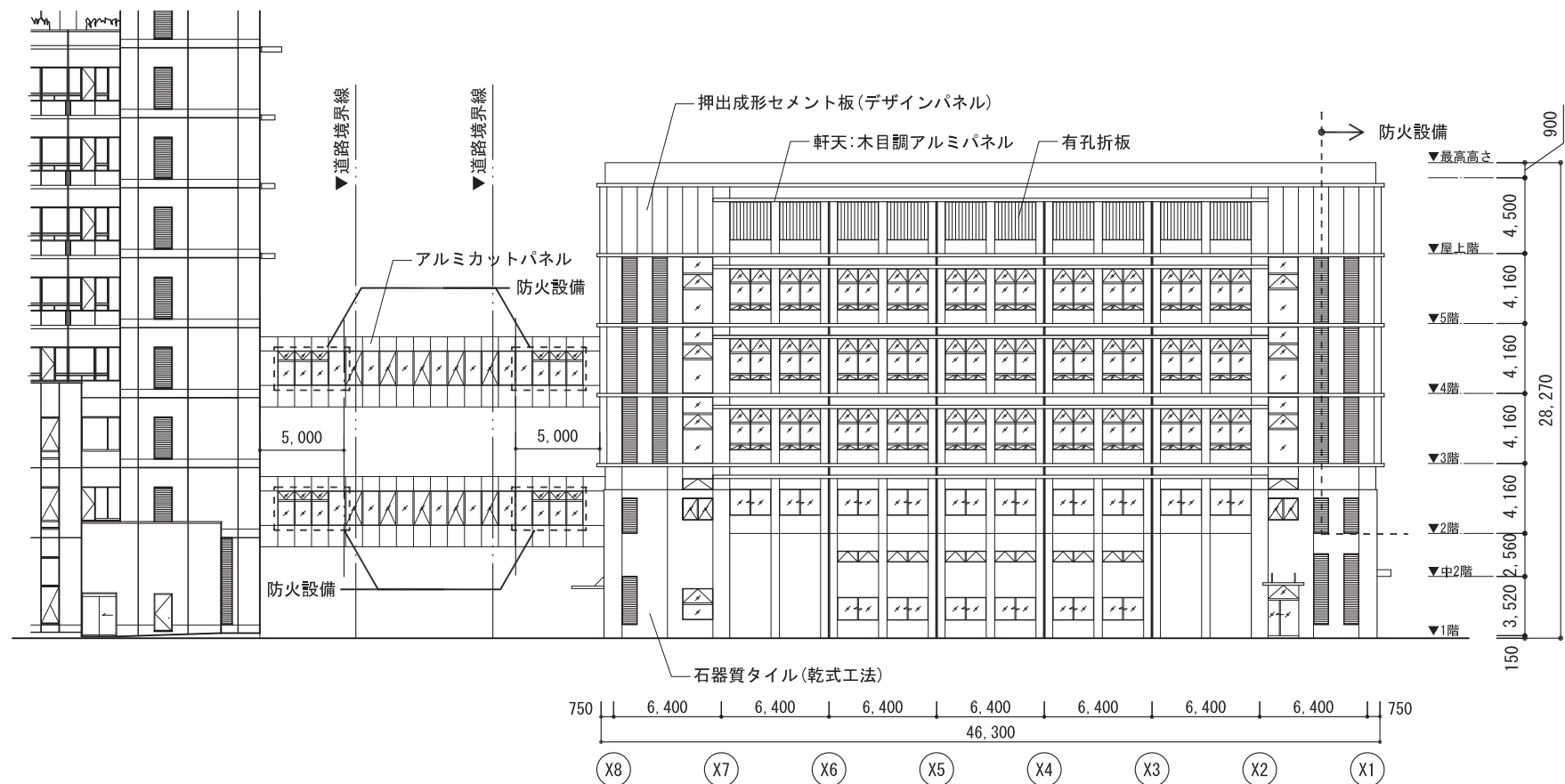
屋上階平面図



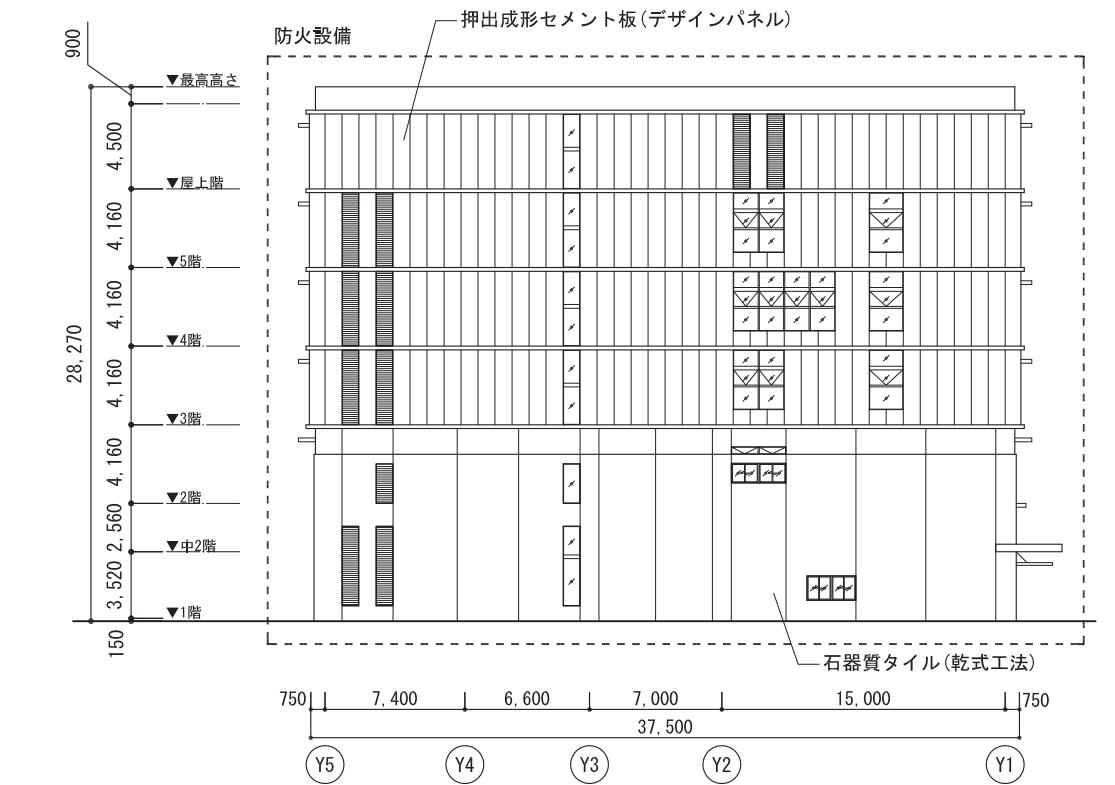
南側立面図



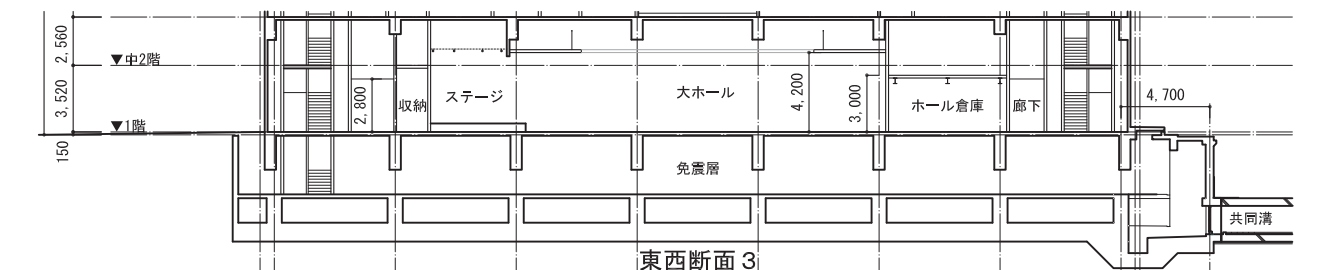
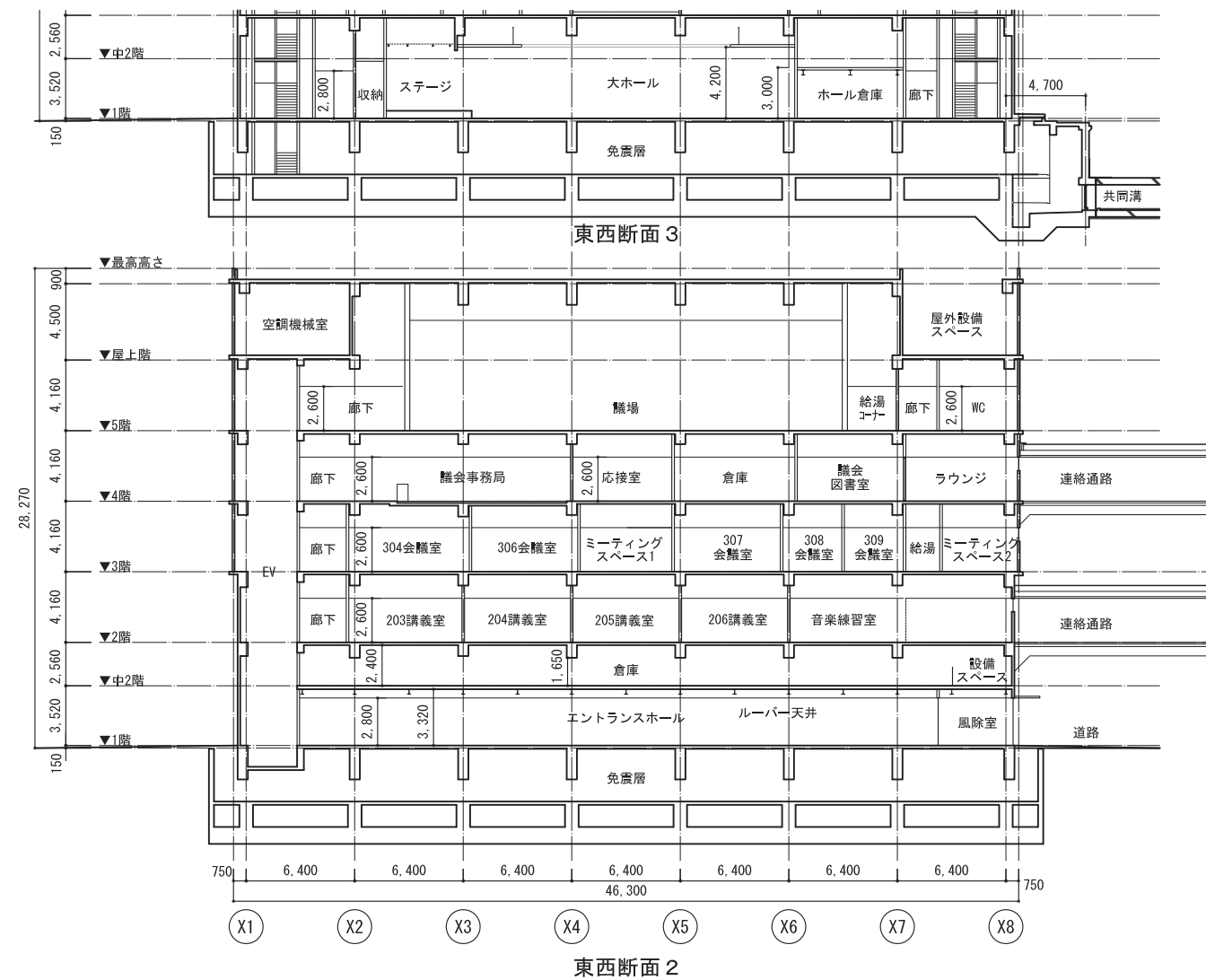
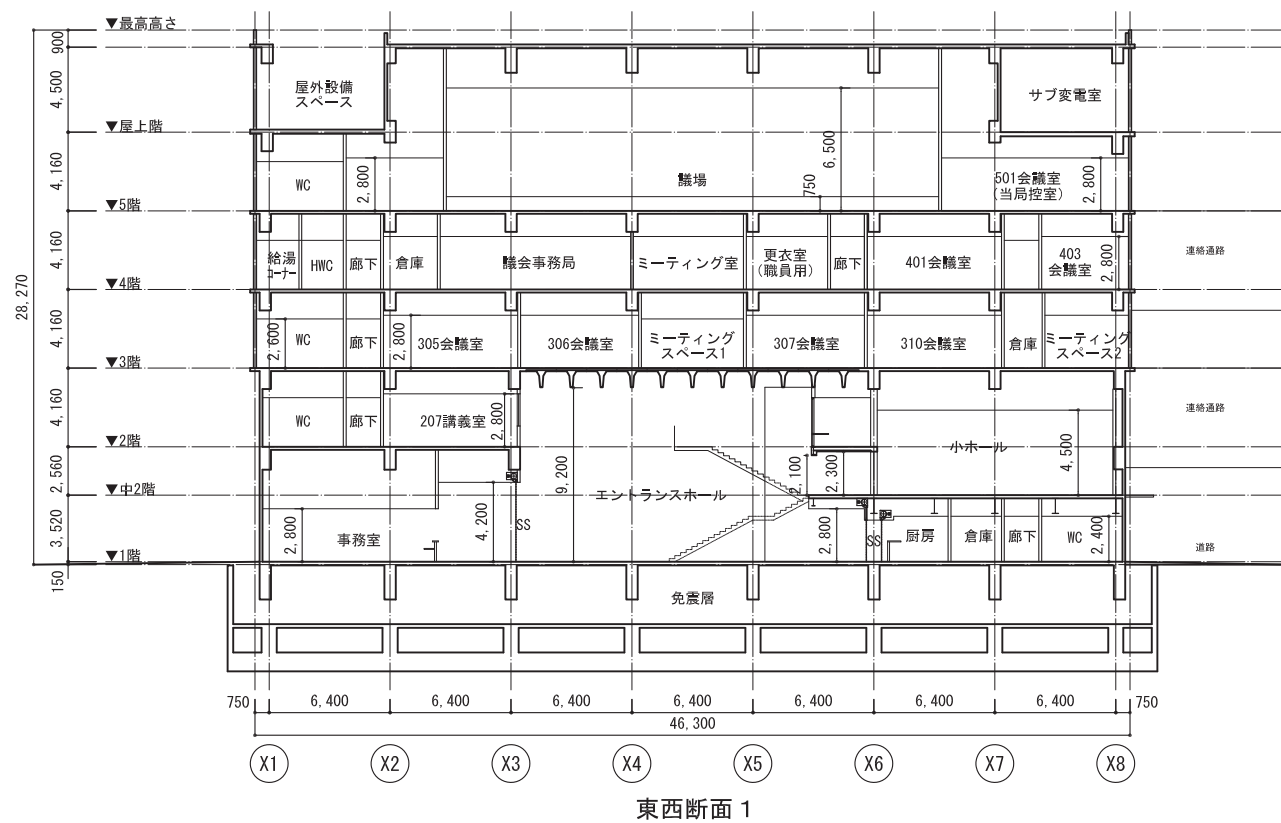
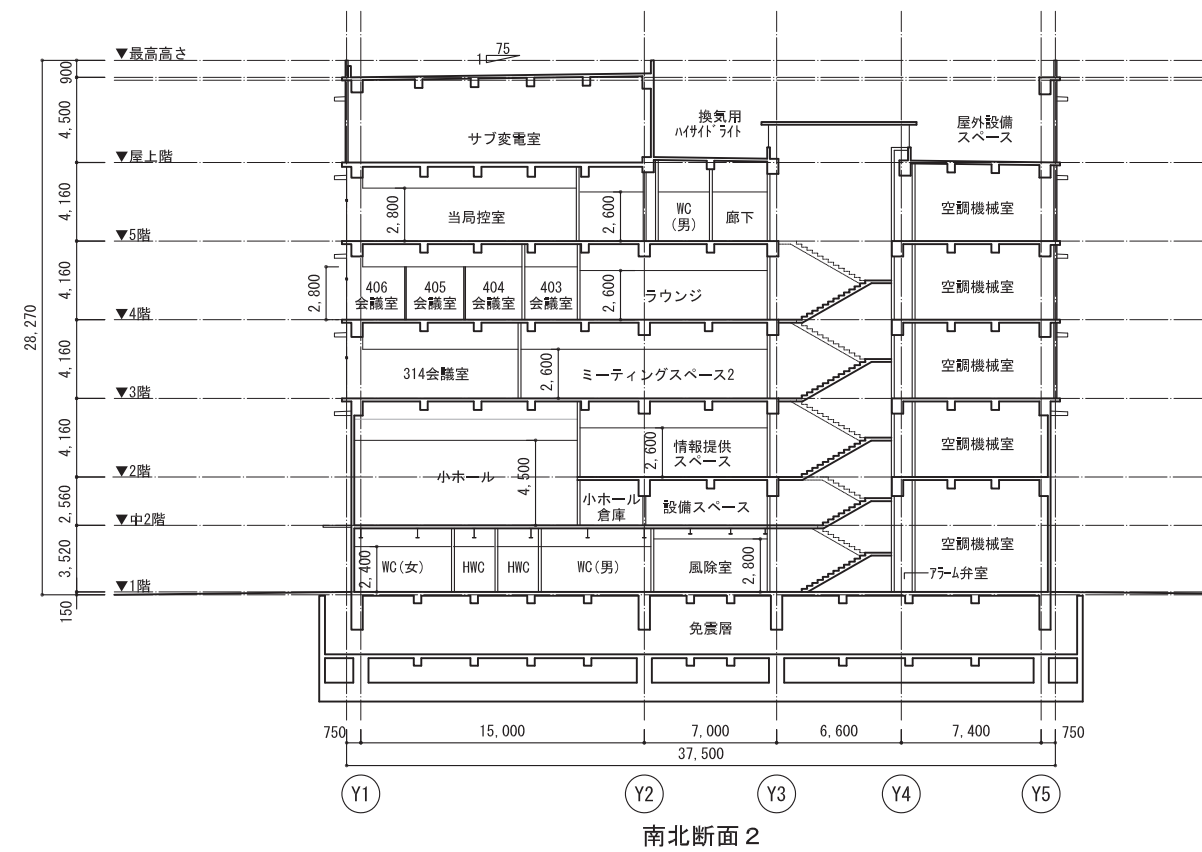
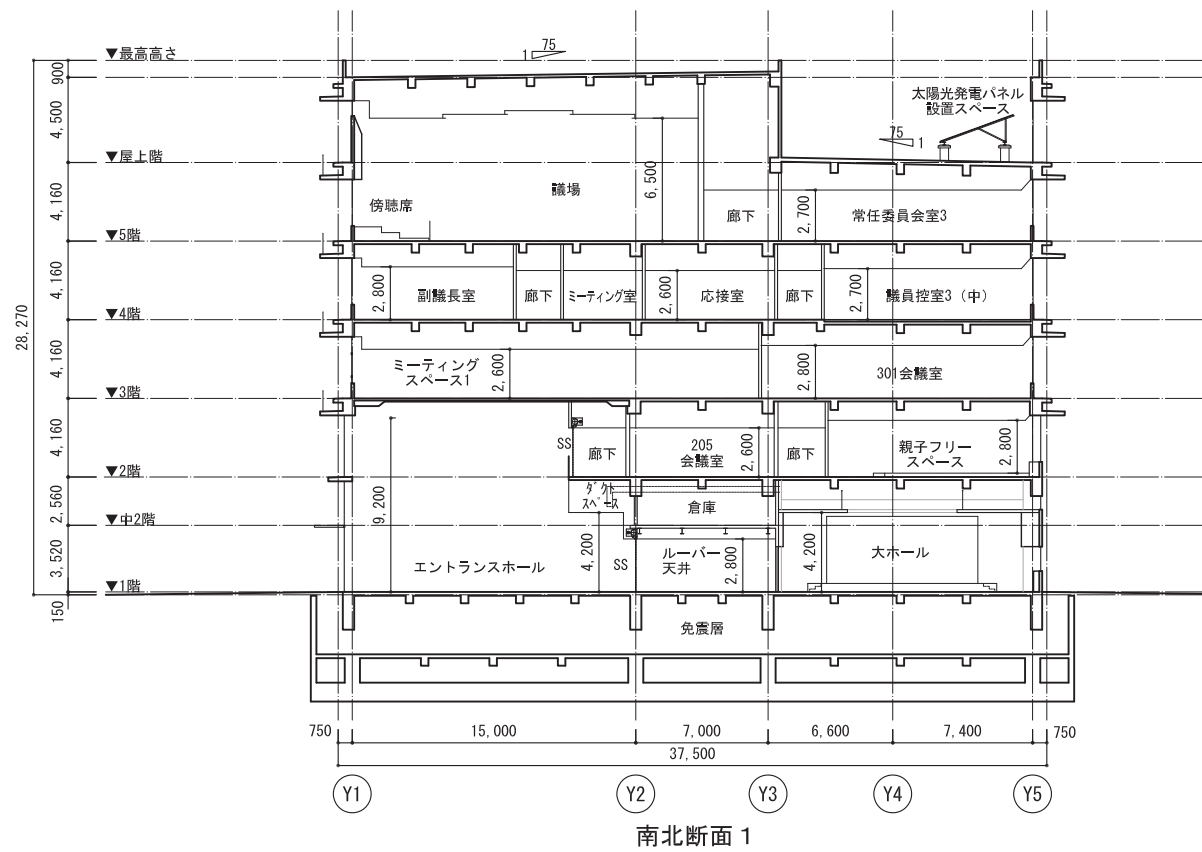
東側立面図

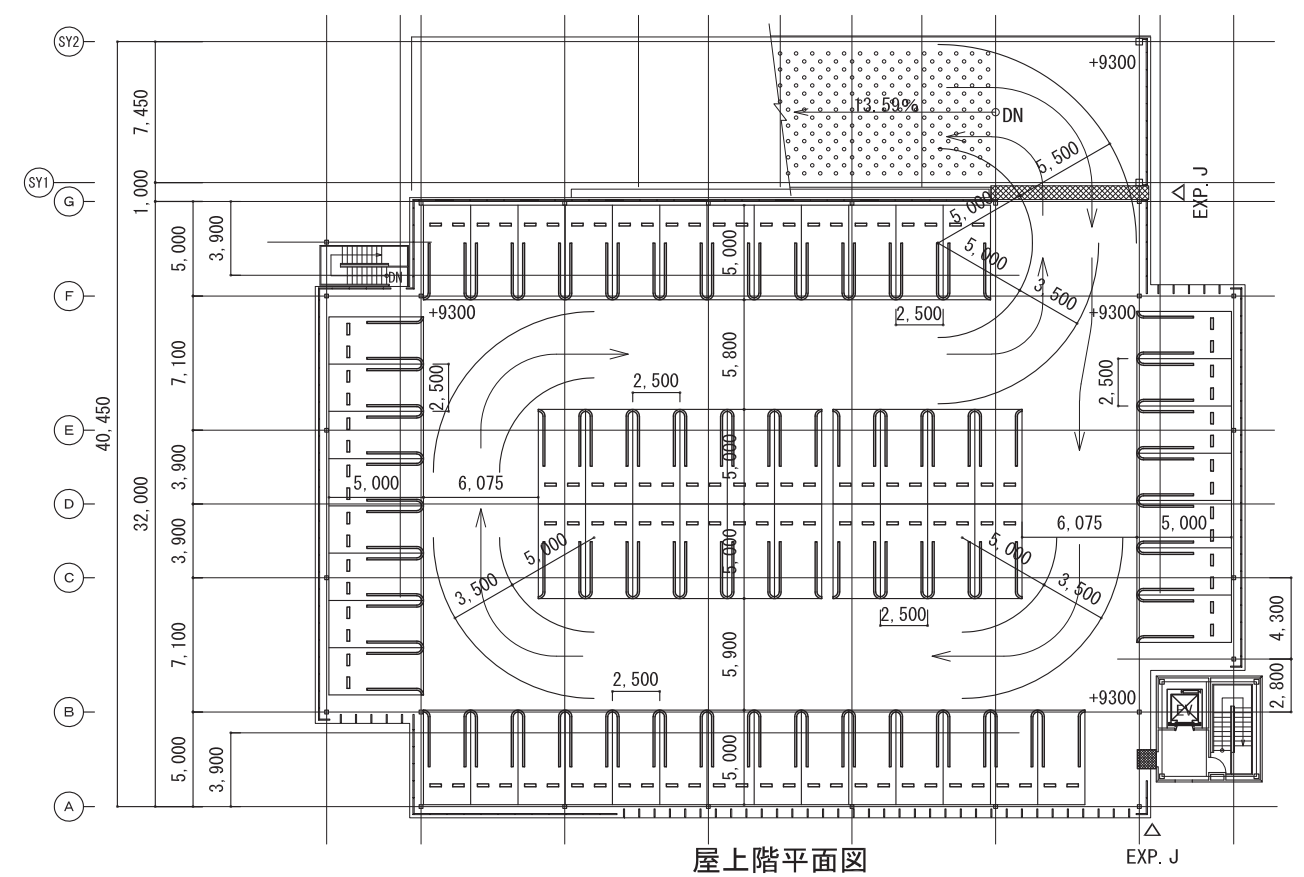
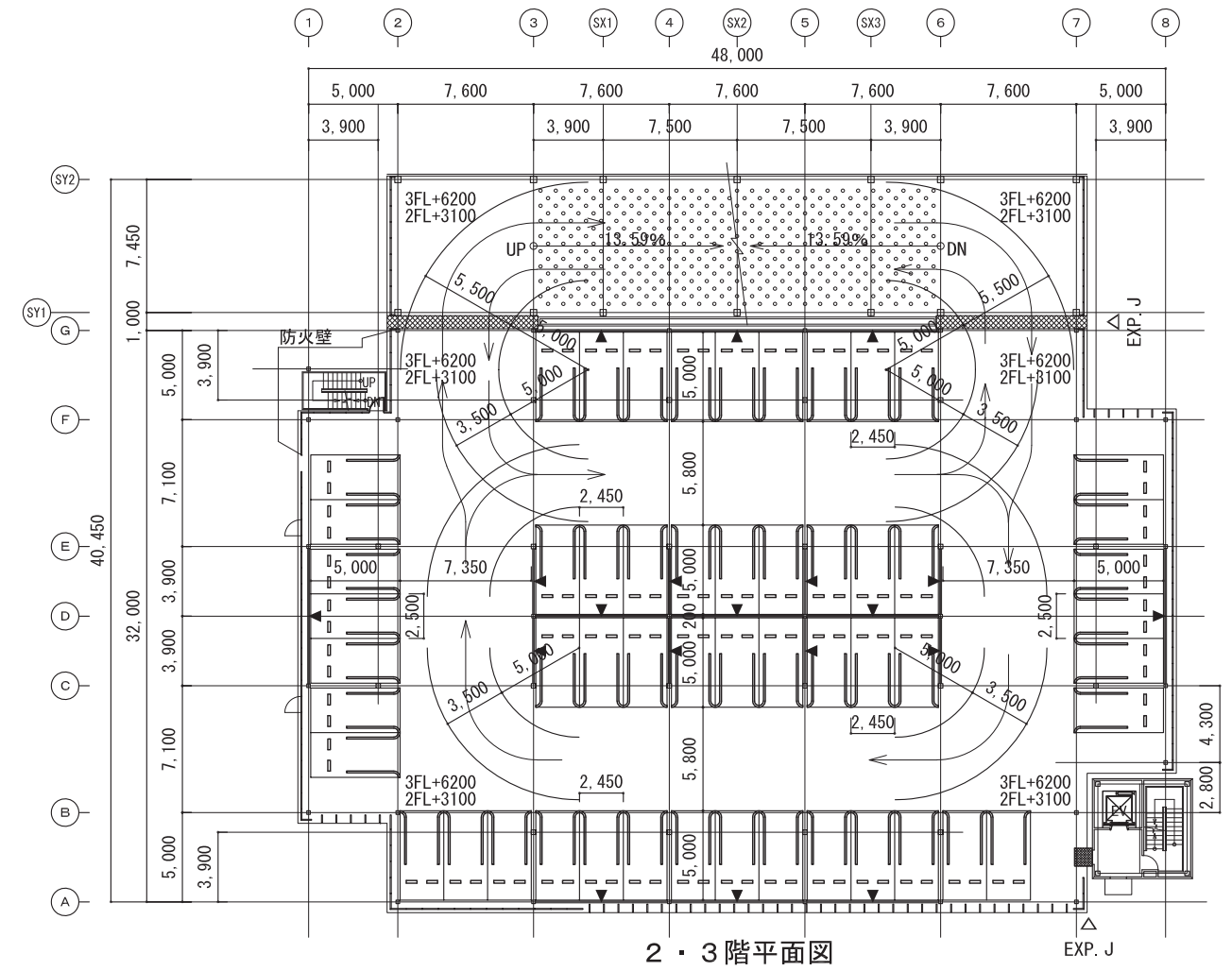
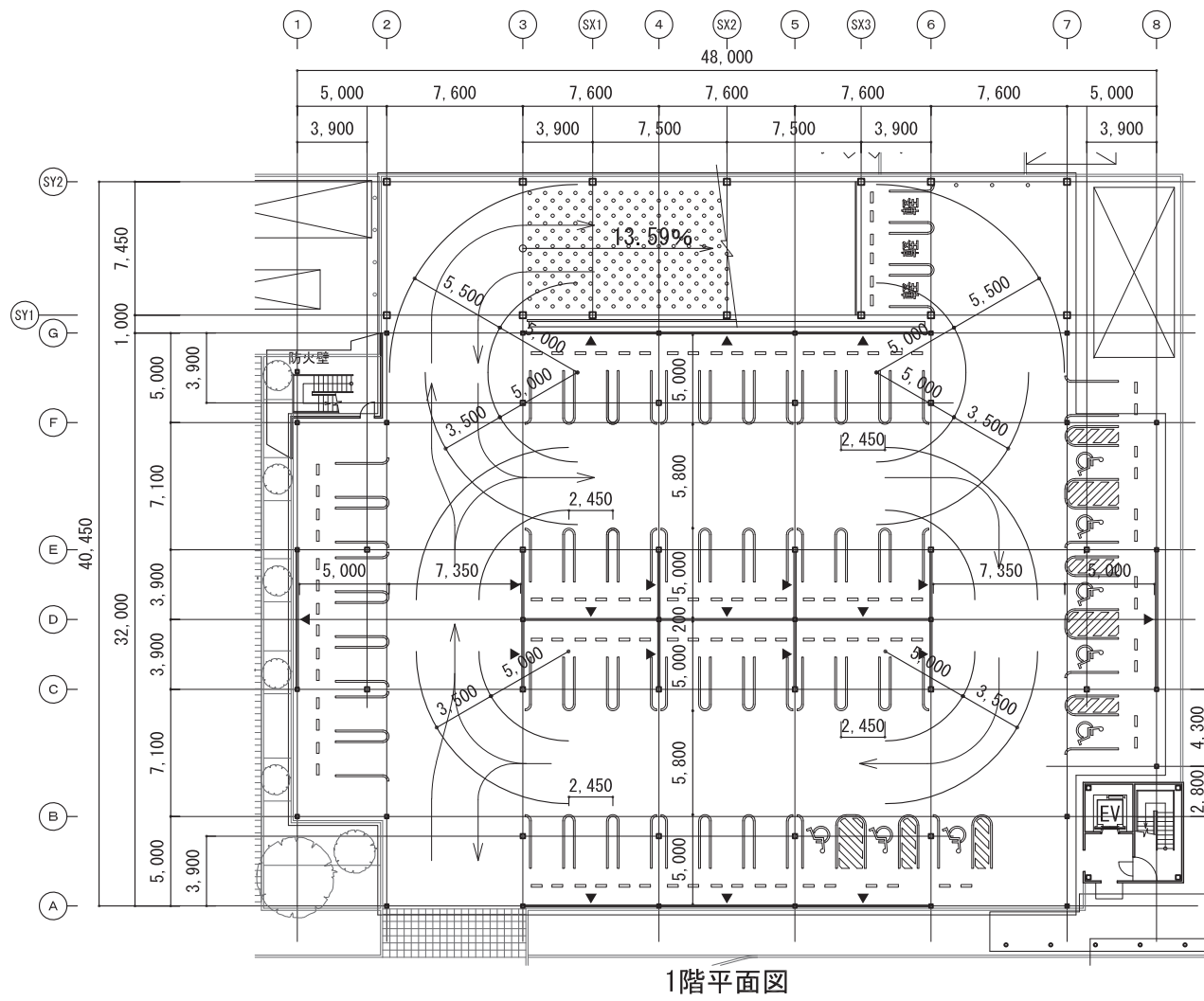


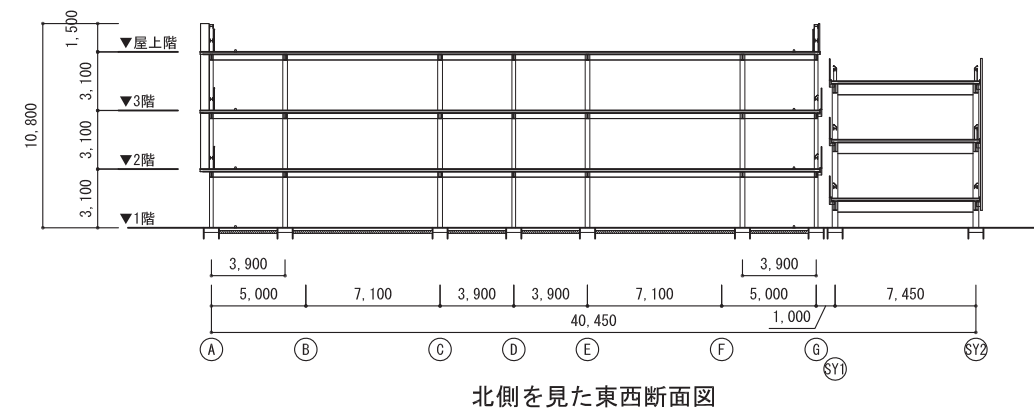
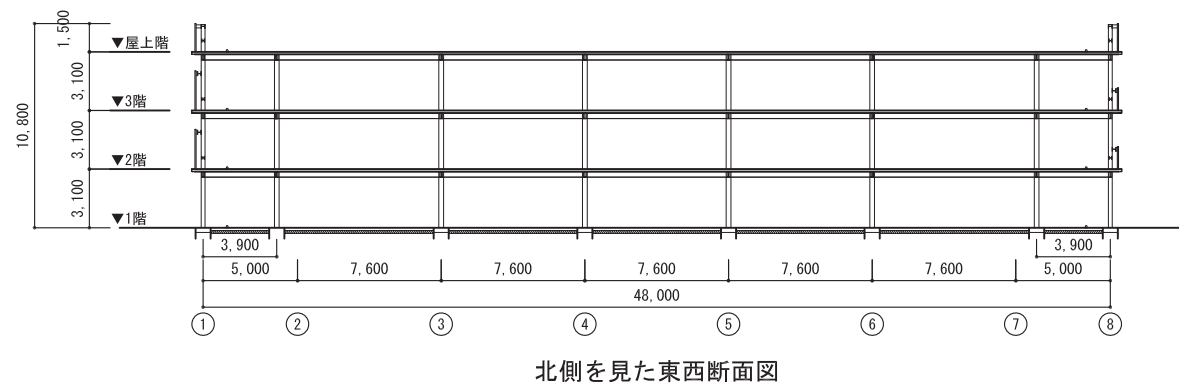
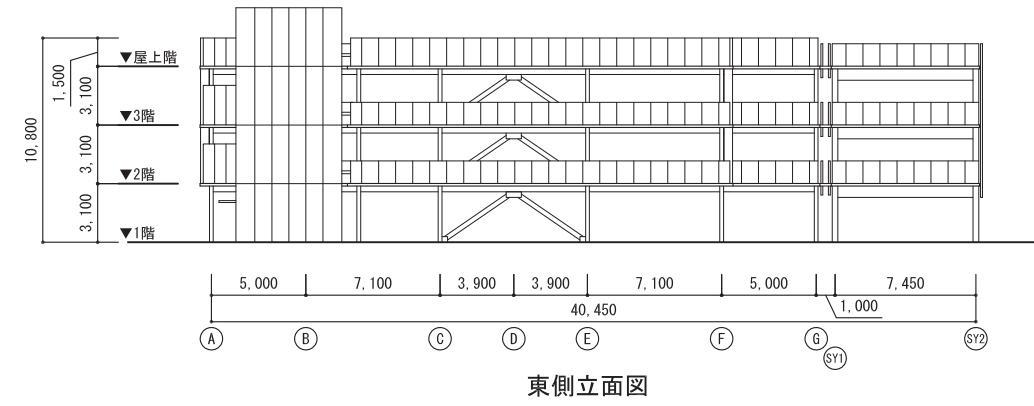
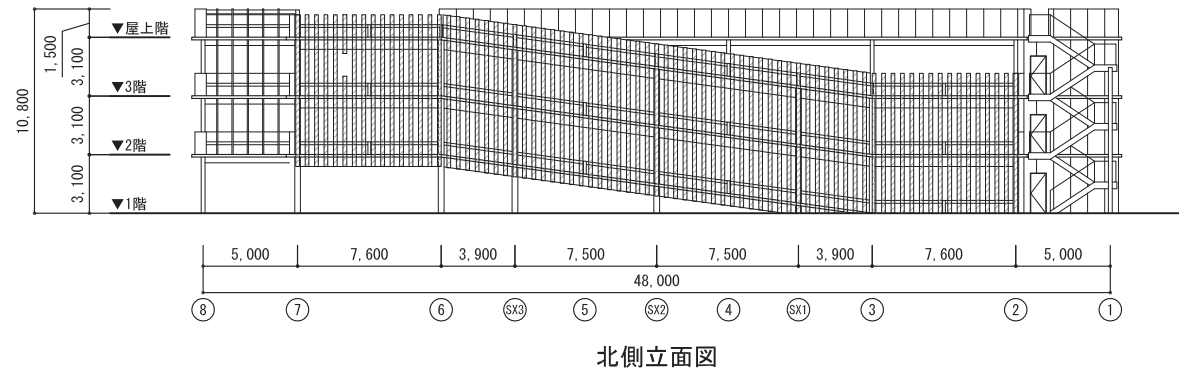
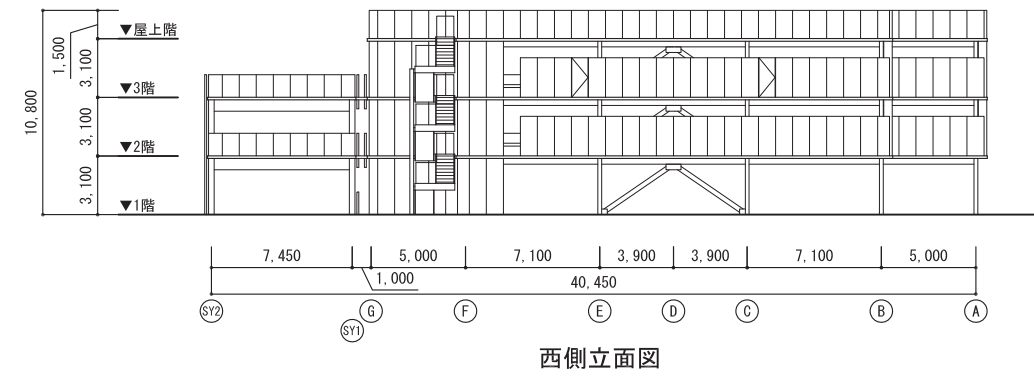
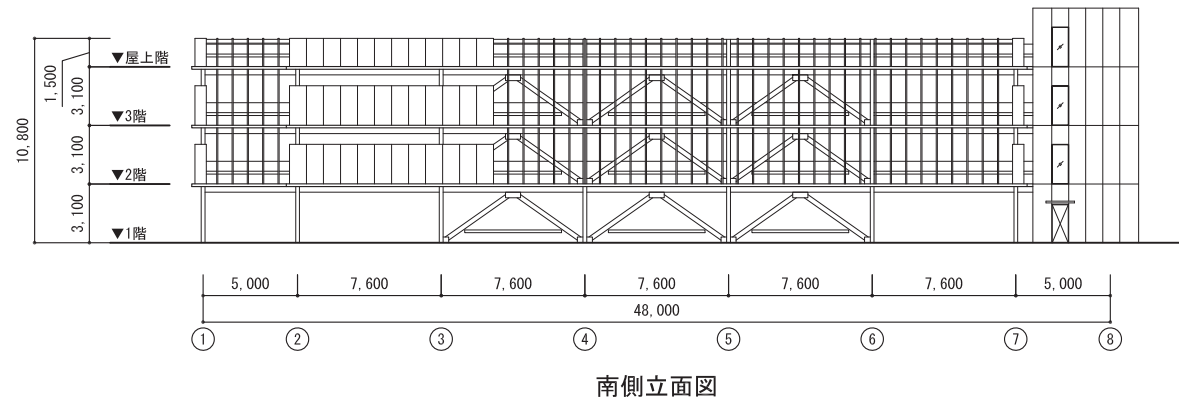
北側立面図



西側立面図







階	室名	建 築						内装制限	備考
		床 仕上	巾木・腰 仕上	壁 仕上	天井 仕上	天井高			
各階	廊下	ビニル床シート(汎用性)	ビニル巾木	60	塗装(EP-G)	岩綿吸音板 (1・2階の一部:準不燃木板ルーバー)	2,600	準不燃	
	WC(男女)・HWC	ビニル床シート(抗菌)	床材立上げ	60	化粧ケイカル板	岩綿吸音板	2,600	準不燃 ※告示(二)-2	
	機械室・サブ変電室	塗床	床材立上げ	60	グラスウールガラスクロス包み	グラスウールガラスクロス包み	直天	準不燃 ※告示(二)-2	
	倉庫・収納 更衣室・給湯コーナー	ビニル床シート(汎用性)	ビニル巾木	60	塗装(EP-G)	化粧石膏ボード	2,600	準不燃 ※告示(二)-2	
1階	風除室1	石貼り	石貼り	60	アルミカットパネル	アルミカットパネル	4,200	準不燃	
	風除室2	石貼り	石貼り	60	アルミカットパネル	アルミカットパネル	2,800	準不燃	
	風除室3	石貼り	石貼り	60	アルミカットパネル	アルミカットパネル	2,800	準不燃	
	事務室	帯電防止タイルカーペット OAフロア	ビニル巾木	60	ビニルクロス	岩綿吸音板	2,800	難燃	
	印刷室	ビニル床シート(汎用性)	ビニル巾木	60	塗装(EP-G)	岩綿吸音板	2,600	準不燃 ※告示(二)-2	
	受付	ビニル床シート(汎用性)	ビニル巾木	60	塗装(EP-G)	岩綿吸音板	2,800	準不燃	
	エントランスホール (ホワイエ)	石貼り	石貼り	60	LVL内装材(準不燃) スチール掲示壁面	格子天井(LVL内装材(準不燃)) スラブ下グラスウールガラスクロス包み	4,200 2,800	準不燃	ふところ内は塗装
	エントランスホール (吹抜部)	石貼り	石貼り	60	塗装(EP-G)	ST床板現し	直天(9000以上)	準不燃	
	大ホール	フローリング	木巾木+クリア塗装	60	グラスウール(吸音材)+不燃有孔化粧板 不燃化粧板	岩綿吸音板 グラスウールガラスクロス包み	4,200 直天	不燃	
	ホール倉庫	ビニル床シート(汎用性)	ビニル巾木	60	塗装(EP-G)	化粧石膏ボード	2,600	準不燃 ※告示(二)-2	
	厨房	ビニル床シート(汎用性)	床材立上げ	60	化粧ケイカル板	不燃積層石膏ボード	2,400	不燃	
	休憩室	ビニル床シート(汎用性)	ビニル巾木	60	塗装(EP-G)	化粧石膏ボード	2,600	不燃 ※告示(二)-4	
	中2階	小ホール	フローリング	木巾木+クリア塗装	60	グラスウール(吸音材)+不燃有孔化粧板 塗装(EP-G)	格子天井(木毛セメント+EP) グラスウールガラスクロス包み	4,500 直天	難燃
2階	201・202・203 講義室	タイルカーペット	ビニル巾木	60	ビニルクロス	岩綿吸音板	2,800	不燃 ※告示(二)-4	
	204・205・206 講義室	タイルカーペット	ビニル巾木	60	ビニルクロス	岩綿吸音板	2,800	不燃 ※告示(二)-4	
	207 講義室	タイルカーペット	ビニル巾木	60	ビニルクロス	岩綿吸音板	2,600	難燃	
	前室1・2	ビニル床シート(汎用性)	ビニル巾木	60	ビニルクロス	ビニルクロス	2,600	準不燃 ※告示(二)-2	
	208講義室(大・中・小)	畳またはクッション床材	タタミ寄せ又はビニル巾木	60	ビニルクロス	ビニルクロス	2,800	難燃	
	授乳室・おむつ替え室	ビニル床シート(汎用性)	ビニル巾木	60	ビニルクロス	ビニルクロス	2,600	準不燃 ※告示(二)-2	
	工作室兼講義室	ビニル床シート(汎用性)	木巾木+クリア塗装	60	木毛セメント板+塗装	岩綿吸音板	2,600	難燃	
	音楽練習室	タイルカーペット	ビニル巾木	60	グラスウール(吸音材)+有孔ケイカル板+塗装	岩綿吸音板	2,600	不燃 ※告示(二)-4	
	親子フリースペース	畳またはクッション床材	タタミ寄せ又はビニル巾木	60	ビニルクロス	ビニルクロス	2,600	難燃	
	情報提供スペース	ビニル床シート(汎用性)	ビニル巾木	60	塗装(EP-G) スチール掲示壁面	岩綿吸音板	2,600	難燃	
	調理室兼講義室	ビニル床シート(汎用性)	ビニル巾木	60	ビニルクロス 一部キッチンパネル	岩綿吸音板	2,800	難燃	
廊下	ビニル床シート(汎用性)	ビニル巾木	60	塗装(EP-G)	格子天井(LVL内装材(準不燃)) スラブ下グラスウールガラスクロス包み	2,600	準不燃		

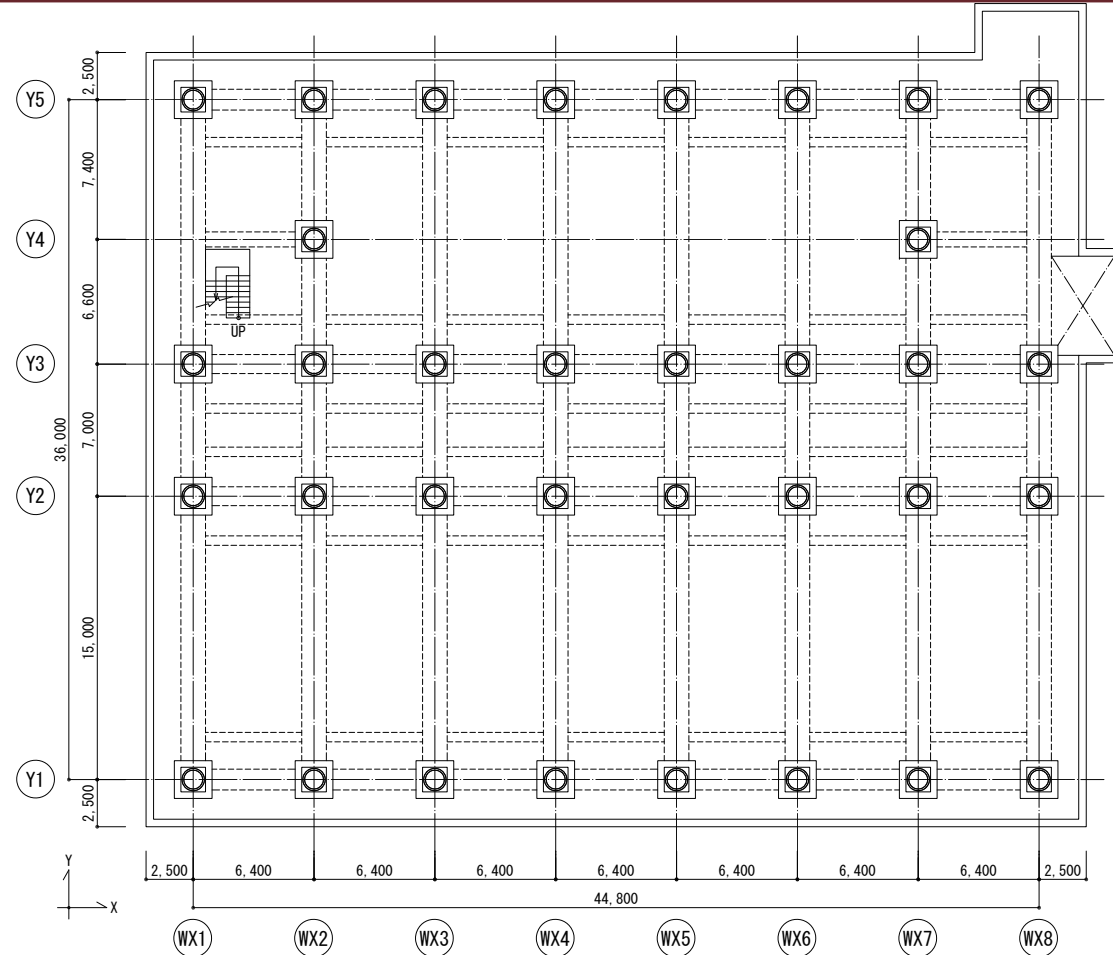
階	室名	建築					天井高	内装制限	備考
		床 仕上	巾木・腰 仕上	壁 仕上	天井 仕上				
3階	301 会議室	タイルカーペット	ビニル巾木	60	ビニルクロス	岩綿吸音板	2,800	難燃	
	302 会議室	タイルカーペット	ビニル巾木	60	ビニルクロス	岩綿吸音板	2,700	難燃	
	303 会議室	タイルカーペット	ビニル巾木	60	ビニルクロス	岩綿吸音板	2,700	難燃	
	304・305 会議室	タイルカーペット	ビニル巾木	60	ビニルクロス	岩綿吸音板	2,800	難燃	
	306・307 会議室	タイルカーペット	ビニル巾木	60	ビニルクロス	岩綿吸音板	2,800	難燃	
	308・309 会議室	タイルカーペット	ビニル巾木	60	ビニルクロス	岩綿吸音板	2,600	不燃 ※告示(ニ)-4	
	310 会議室	タイルカーペット	ビニル巾木	60	ビニルクロス	岩綿吸音板	2,600	不燃 ※告示(ニ)-4	
	311・312・313・314 会議室	タイルカーペット	ビニル巾木	60	ビニルクロス	岩綿吸音板	2,600	不燃 ※告示(ニ)-4	
	ミーティングスペース1・2	ビニル床シート(汎用性)	ビニル巾木	60	塗装(EP-G)	岩綿吸音板	2,600	難燃	
4階	議員控室1・2	帯電防止タイルカーペット OAフロア	ビニル巾木	60	ビニルクロス	岩綿吸音板	2,700	難燃	
	議員控室3・4	帯電防止タイルカーペット OAフロア	ビニル巾木	60	ビニルクロス	岩綿吸音板	2,700	難燃	
	議員控室5・6	帯電防止タイルカーペット OAフロア	ビニル巾木	60	ビニルクロス	岩綿吸音板	2,700	難燃	
	議会議務局	帯電防止タイルカーペット OAフロア	ビニル巾木	60	塗装(EP-G)	岩綿吸音板	2,600	難燃	
	局長室	タイルカーペット	ビニル巾木	60	ビニルクロス	岩綿吸音板	2,800	難燃	
	ミーティング室	ビニル床シート(汎用性)	ビニル巾木	60	塗装(EP-G)	岩綿吸音板	2,600	難燃	
	更衣室(議員用)	ビニル床シート(汎用性)	ビニル巾木	60	塗装(EP-G)	化粧石膏ボード	2,600	準不燃 ※告示(ニ)-2	
	更衣室(職員用)	ビニル床シート(汎用性)	ビニル巾木	60	塗装(EP-G)	化粧石膏ボード	2,600	準不燃 ※告示(ニ)-2	
	401 会議室	タイルカーペット	ビニル巾木	60	ビニルクロス	岩綿吸音板	2,600	不燃 ※告示(ニ)-4	
	402 会議室	タイルカーペット	ビニル巾木	60	ビニルクロス	岩綿吸音板	2,600	難燃	
	403・404・405・406 会議室	タイルカーペット	ビニル巾木	60	ビニルクロス	岩綿吸音板	2,600	難燃	
	ラウンジ	ビニル床シート(汎用性)	ビニル巾木	60	塗装(EP-G)	岩綿吸音板	2,600	難燃	
	議長室	タイルカーペット	木巾木+クリア塗装	60	天然木突板練付合板 (H2,125まで) 織物壁紙 (H2,125以上)	岩綿吸音板	2,800	難燃	
	正副議長応接室	タイルカーペット	木巾木+クリア塗装	60	天然木突板練付合板 (H2,125まで) 織物壁紙 (H2,125以上)	岩綿吸音板	2,800	難燃	
	副議長室	タイルカーペット	木巾木+クリア塗装	60	天然木突板練付合板 (H2,125まで) 織物壁紙 (H2,125以上)	岩綿吸音板	2,800	難燃	
	図書室	タイルカーペット	ビニル巾木	60	ビニルクロス	岩綿吸音板	2,600	不燃 ※告示(ニ)-4	
	応接室	タイルカーペット	木巾木+クリア塗装	60	天然木突板練付合板 (H2,125まで) 織物壁紙 (H2,125以上)	岩綿吸音板	2,800	不燃 ※告示(ニ)-4	
5階	常任委員会室1・2・3・4	タイルカーペット	木巾木+クリア塗装	60	天然木突板練付合板 (H2,125まで) 織物壁紙 (H2,125以上)	岩綿吸音板	2,700	難燃	
	議場	タイルカーペットS	木巾木+クリア塗装	60	木ルーバー+ガラスウールガラスクロス包みt50 塗装(EP-G)	塗装(EP) 岩綿吸音板	6,500	難燃	
	傍聴席	タイルカーペット	木巾木+クリア塗装	60	木ルーバー+ガラスウールガラスクロス包みt50 塗装(EP-G)	塗装(EP) 岩綿吸音板	6,000	難燃	
	傍聴ロビー	タイルカーペット	木巾木+クリア塗装	60	塗装(EP-G)	岩綿吸音板	2,600	難燃	
	501 会議室(当局控室)	タイルカーペット	ビニル巾木	60	ビニルクロス	岩綿吸音板	2,600	難燃	

階	室名	電気設備														空調換気設備												給排水衛生設備						ガス栓	IH	その他							
		照明				コンセント		電話	LAN		拡声		テレビ		呼出		施設管理カメラ	電気時計	登退庁	入退室管理	映像・音響	備考 (電気設備)	空調・換気			空調機器			換気機器								衛生器具						
		設定照度 [lx]	発電機回路割合	照明器具	点滅制御	一般	発電機回路割合		一般	無線	スピーカー	アツテネータ	端子	インターホン	トイレ呼出	①							②	③	①	②	③	①	②	③	④	⑤	⑥				①	②	③	④	⑤	⑥	
																																											冷房
各階	廊下	100	30%	ダウンライト	遠方	○			○									カードリーダー (階段・連絡通路)				●																					
	WC(男女)・HWC	200	100%	ダウンライト	在室検知	○							○										●																		●		
	機械室・サブ変電室	200	0~30%	直付	手元	○				○													●																				
	倉庫・収納 更衣室・給湯コーナー	200	30%	直付	手元	○				○														●	●																	●	
1階	風除室1	300		ダウンライト	遠方	○						○ 子機																															
	風除室2	300		ダウンライト	遠方	○						○ 子機																															
	風除室3	300		ダウンライト	遠方	○																																					
	事務室	750	100%	埋込下面開放	手元	○	30%	○	○	○	○	○	○ (風除室)	○ (表示器)	主装置																												
	印刷室	500	100%	埋込下面開放	手元	○	30%	○	○	○																																	
	受付	300	100%	埋込下面開放	手元	○	30%	○	○	○					主装置																												
	エントランスホール (ホワイエ)	300	30%	ダウンライト	遠方	○			○	○						○	○																										
	エントランスホール (吹抜部)	300	30%	ダウンライト	遠方	○			○	○																																	
	大ホール	500	30%	ダウンライト	手元+遠方	○	30%	○	○	○	○																																
	ホール倉庫	100		直付	手元	○				○																																	
	厨房	500	30%	埋込下面開放	手元+遠方	○				○	○																																
休憩室	100	30%	埋込下面開放	手元+遠方	○				○	○																																	
中2階	小ホール	500	30%	埋込下面開放	手元+遠方	○			○	○																																	
2階	201・202・203 講義室	500	30%	埋込下面開放	手元+遠方	○	30%	○	○	○	○																																
	204・205・206 講義室	500	30%	埋込下面開放	手元+遠方	○	30%	○	○	○	○																																
	207 講義室	500	30%	埋込下面開放	手元+遠方	○	30%	○	○	○	○																																
	前室1・2	100	30%	ダウンライト	手元+遠方	○				○																																	
	208講義室(大・中・小)	300	30%	ダウンライト	手元+遠方	○	30%	○	○	○	○																																
	授乳室・おむつ替え室	300	30%	シーリング	手元+遠方	○				○	○																																
	工作室兼講義室	500	30%	埋込下面開放	手元+遠方	○	30%	○	○	○																																	
	音楽練習室	500	30%	埋込下面開放	手元+遠方	○	30%	○	○	○																																	
	親子フリースペース	300	30%	ダウンライト	遠方	○			○	○																																	
	情報提供スペース	300	30%	埋込下面開放	遠方	○			○	○																																	
	調理室兼講義室	500	30%	埋込下面開放	手元+遠方	○	30%	○	○	○	○																																
廊下	100	30%	ダウンライト	遠方	○				○																																		



(仮称) 市民センター (新しい西棟)	
床面積	
屋上階	約 295 ㎡
5階	約 1,680 ㎡
4階	約 1,700 ㎡
3階	約 1,680 ㎡
2階	約 1,367 ㎡
中2階	約 690 ㎡
1階	約 1,647 ㎡
合計	約 9,059 ㎡

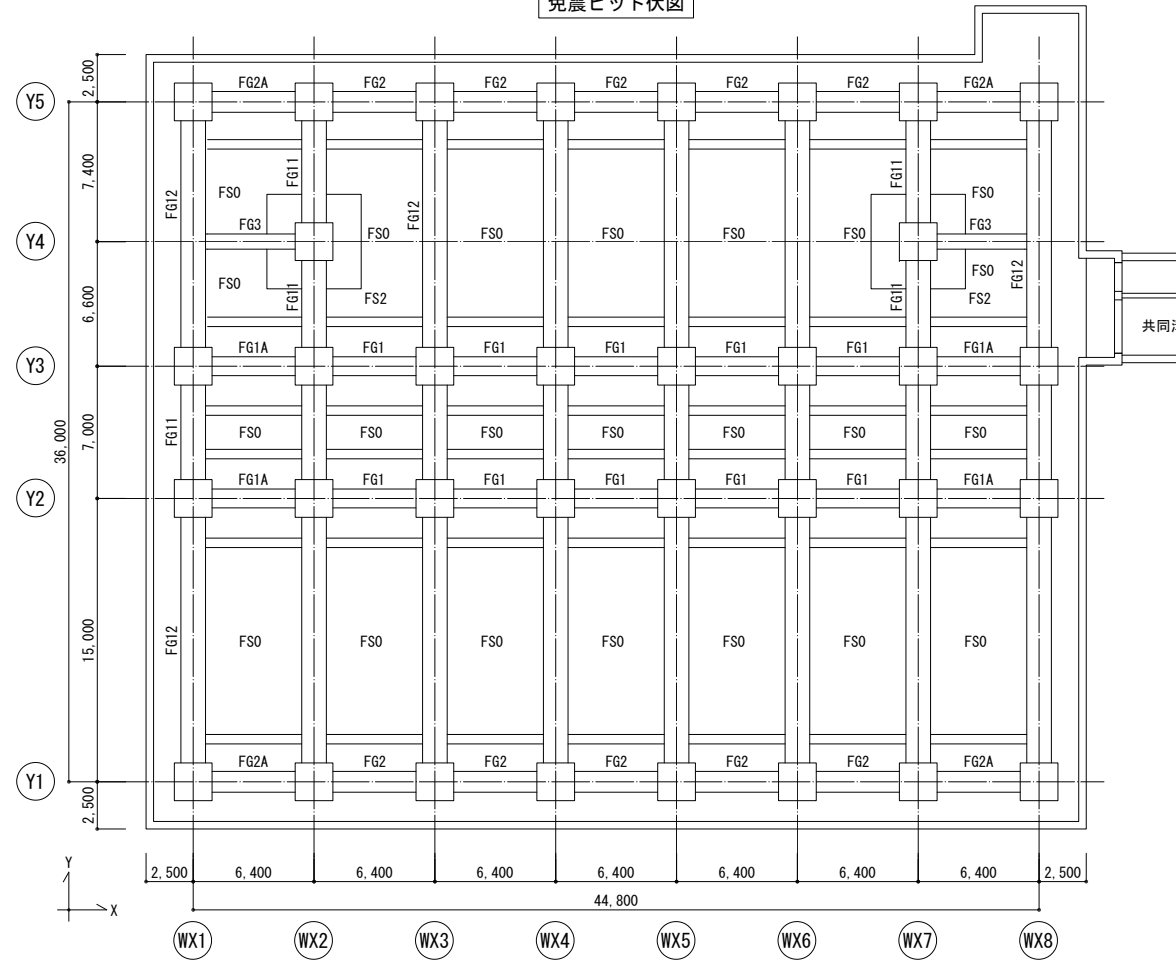
- 免震ピット 共通事項**
(特記なき限り下記による)
1. スラブ符号 S15



基礎部材リスト

部材	符号	部材	備考
スラブ	S15	t=150	
免震基礎	MF1	B=2000, D=2000, H=2900	下部
		B=2000, D=2000, H=2500	上部
擁壁	FW1	t=400	

- 基礎伏図 共通事項**
(特記なき限り下記による)
1. 基礎符号 FS1
 2. FS1 (布基礎): Y1, 5通り BxH=5,000x1,000
: Y2, 3通り BxH=5,200x1,000
FS2 (独立基礎): BxDxH=5,000x5,000x1,000
FS0 (耐圧版): t=300
 3. 基礎小梁符号 FB1
 4. Y方向の基礎梁符号は左に置く



基礎部材リスト

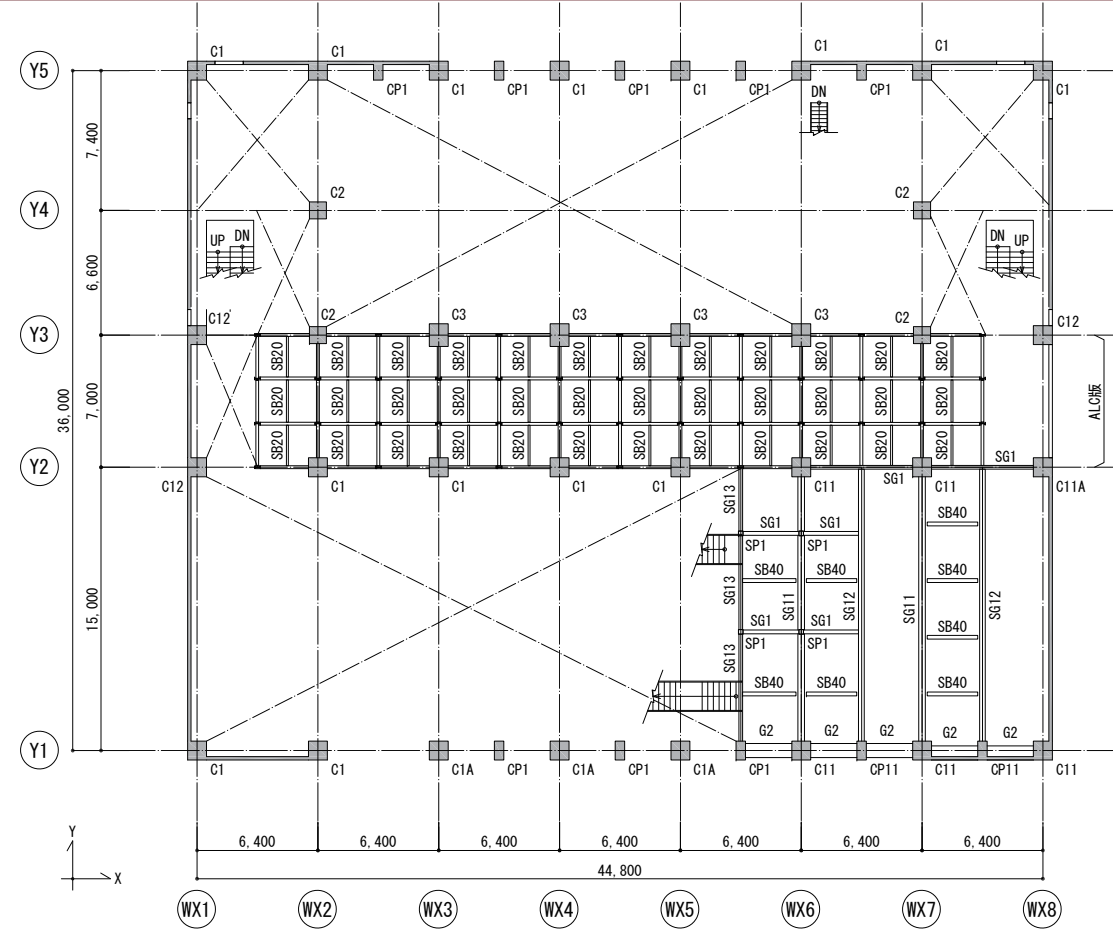
部材	符号	部材	備考
耐圧版	FS0	t=300	
基礎	FS1	B=5000, H=1000	布基礎 (Y1, 5通り)
		B=5200, H=1000	布基礎 (Y2, 3通り)
		B=5000, D=5000, H=1000	独立基礎
基礎梁	FG1, FG1A	1000 × 2500	
	FG2, FG2A	1100 × 2500	
	FG3	800 × 2500	
	FG11, FG12	1300 × 2500	
	FB1	500 × 2500	

- 3階伏図 共通事項
(特記なき限り下記による)
1. 小梁符号 B60
 2. スラブ符号 S15
 3. 壁符号 W18

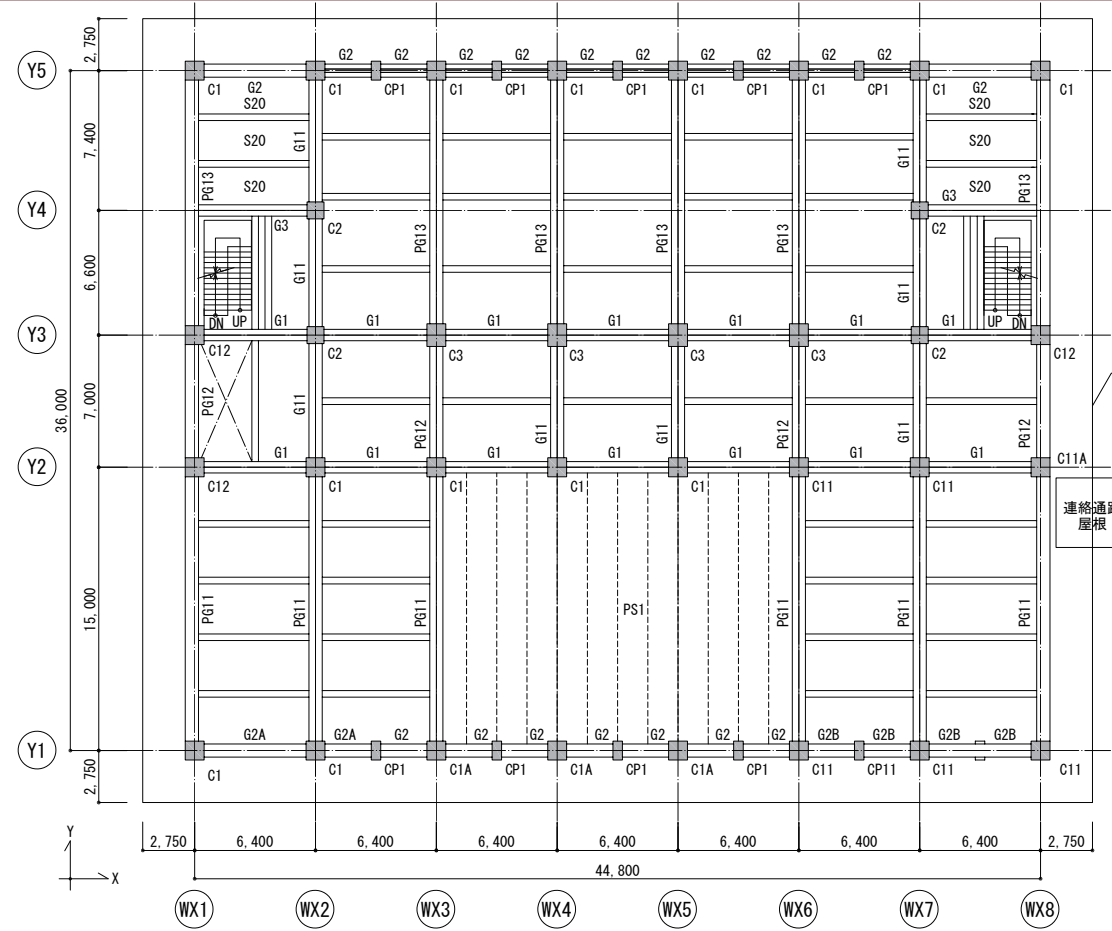
- 2階伏図 共通事項
(特記なき限り下記による)
1. 小梁符号 B60
 2. スラブ符号 S15
 3. 壁符号 W18

- 中2階伏図 共通事項
(特記なき限り下記による)
1. 鉄骨梁符号 SB30
 2. スラブ符号 S15
 3. 壁符号 W18
 4. 吊り材符号 T1

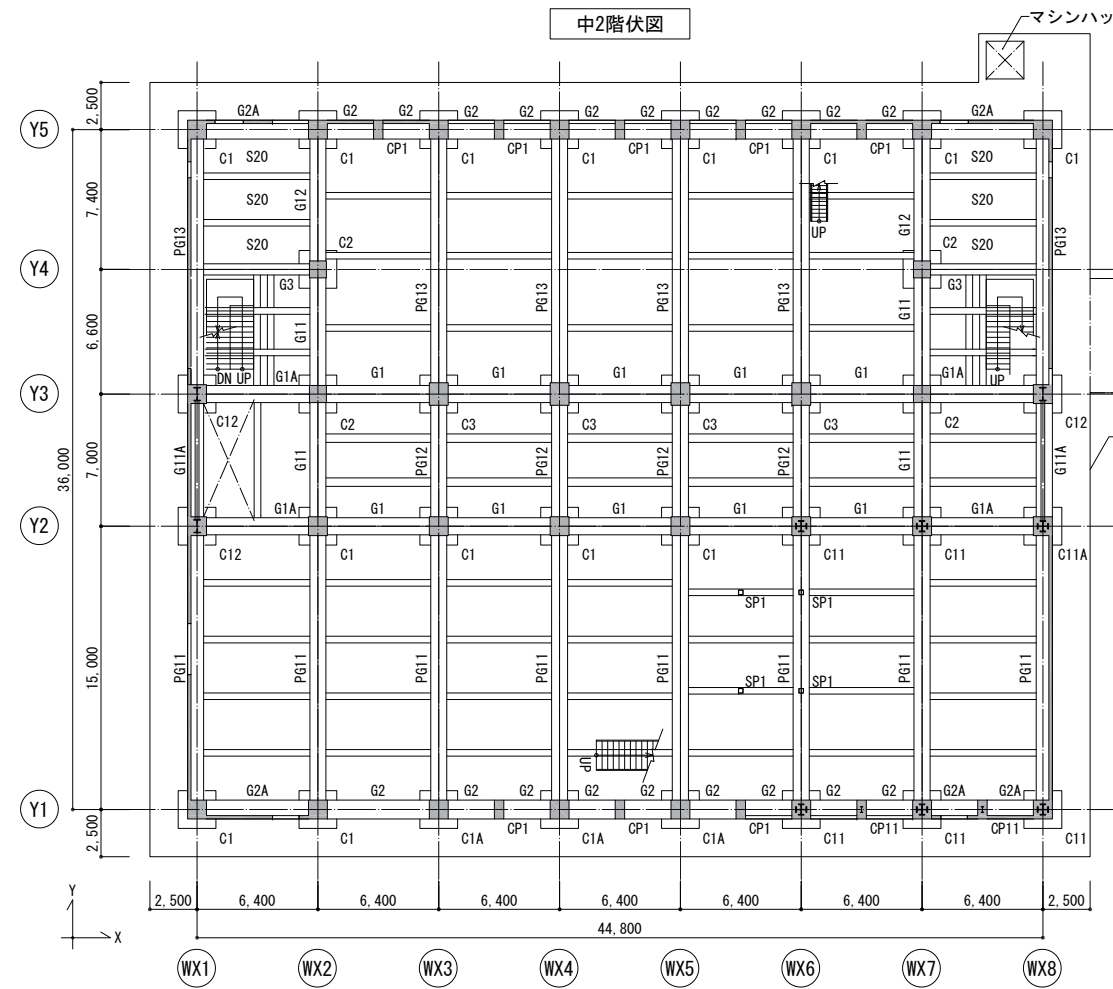
- 1階伏図 共通事項
(特記なき限り下記による)
1. 小梁符号 B60
 2. スラブ符号 S18
 3. 壁符号 W18



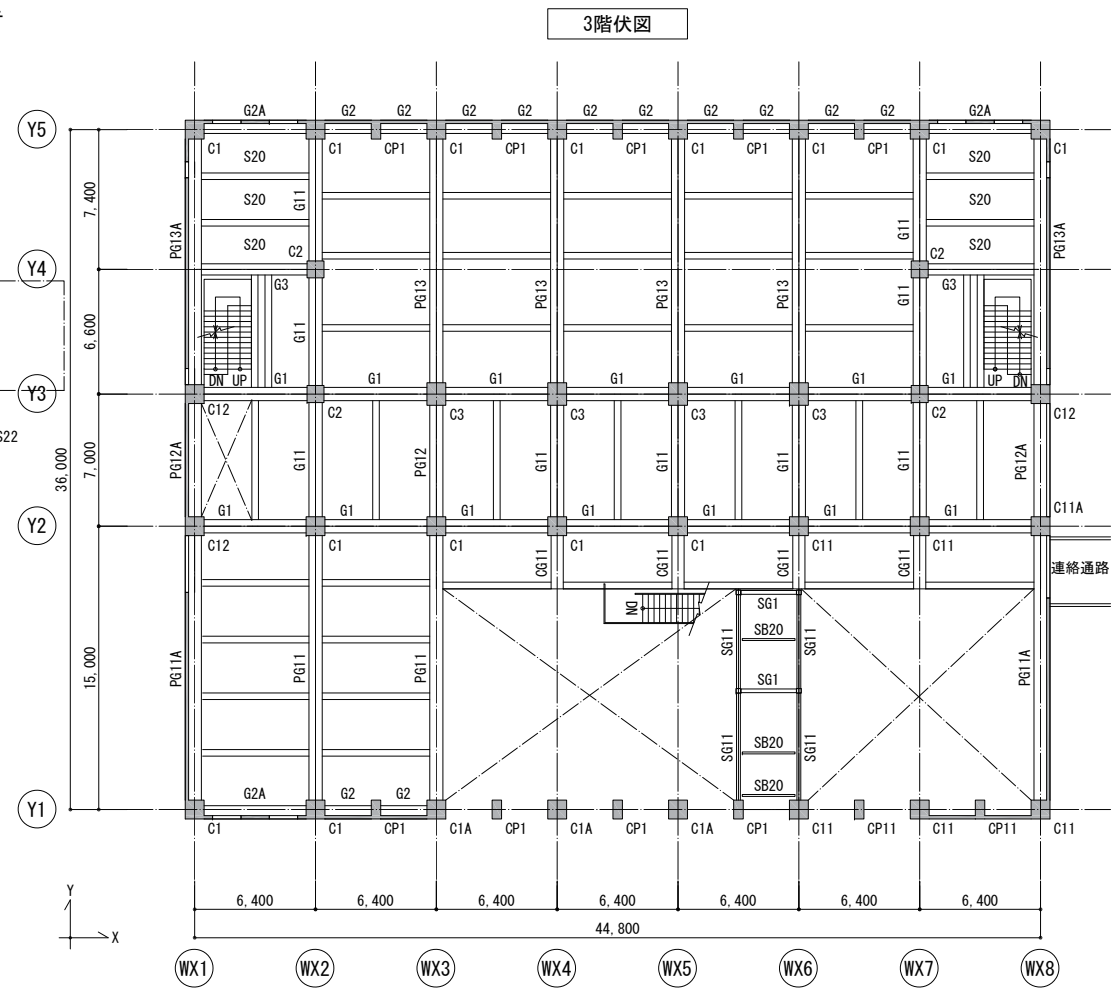
中2階伏図



3階伏図



1階伏図



2階伏図

3階部材リスト

符号	部材	備考
C1, C1A, C11, C11A, C12	1000×1000	
C2	900×900	
C3	1000×1200	
CP1, CP11	500×1000	
G1, G3	600×800	
G2	700×1300	
G2A, G2B	700×900	
G11, PG12	700×800	
PG11, PG13	700×1100	

2階部材リスト

符号	部材	備考
C1, C1A, C11, C11A, C12	1000×1000	
C2	900×900	
C3	1000×1200	
CP1, CP11	500×1000	
G1	700×1000	
G2, G11, G11	700×900	
G2A, PG11, PG13	700×1200	
G3	600×800	
PG11A, PG13A	850×1200	
PG12	700×800	
PG12A	850×850	
鉄骨大梁 SG1	H-200×200×8×12	
SG11	H-400×200×9×19	

中2階部材リスト

符号	部材	備考
C1, C1A, C11, C11A, C12	1000×1000	
C2	900×900	
C3	1000×1200	
CP1, CP11	500×1000	
G2	750×900	
鉄骨大梁 SG1	H-400×200×9×19	
SG11	H-800×350×16×25	
SG12	H-700×300×12×25	
SG13	H-400×200×8×13	
鉄骨間柱 T1	H-300×150×6.5×9	吊り材

1階部材リスト

符号	部材	備考
C1, C1A	1000×1000	
C2	900×900	
C3	1000×1200	
CP1	500×1000	
SRC柱 C11, C11A	1000×1000	RC躯体
	H-700×350×16×25	X方向内蔵鉄骨
	H-700×350×16×25	Y方向内蔵鉄骨
C12	1000×1000	RC躯体
	H-700×350×16×25	Y方向内蔵鉄骨
CP11	500×1000	RC躯体
	H-400×200×8×13	Y方向内蔵鉄骨
RC大梁 G1, G1A	900×1600	
G2, G2A	1000×1600	
G3	600×1600	
G11, G12, PG11, PG12, PG13	850×1600	
SRC大梁 G11A	850×1600	RC躯体
	H-400×200×8×13	内蔵鉄骨
鉄骨間柱 SP1	□-250×19	

全階共通部材リスト

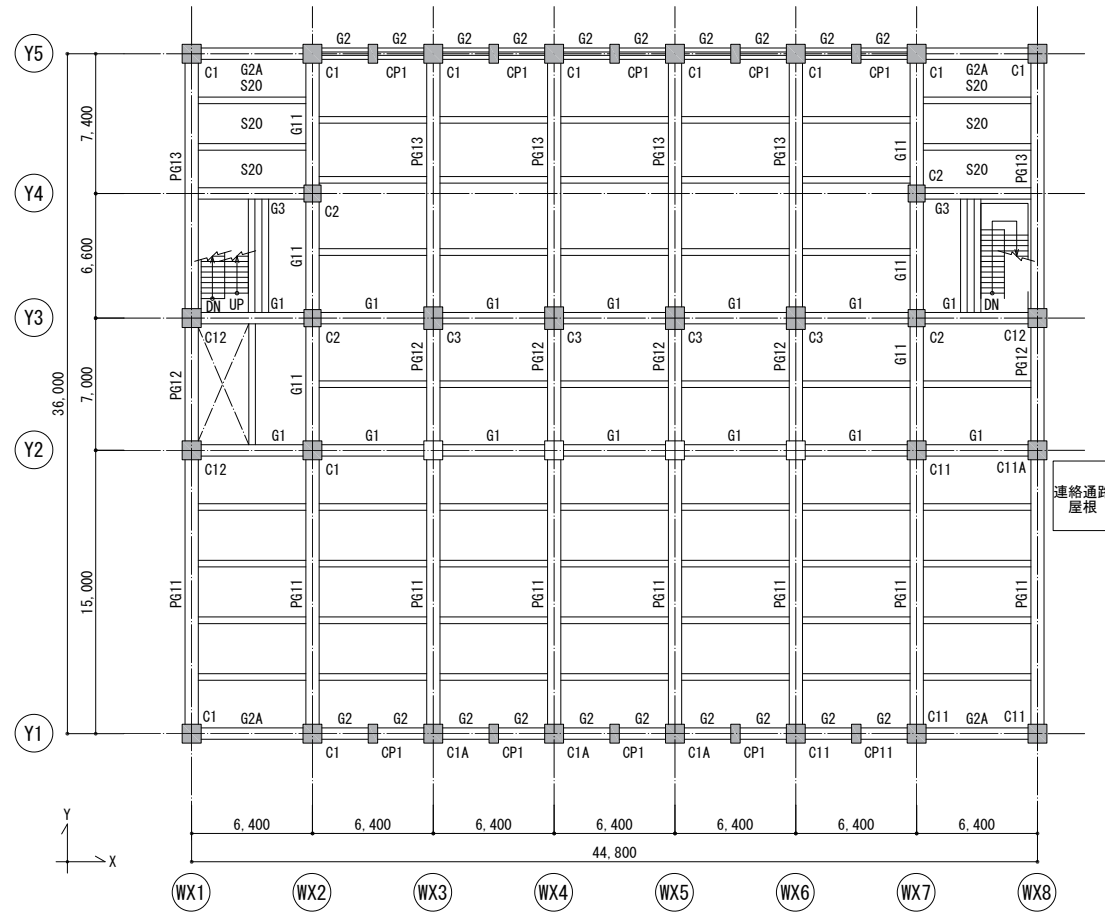
符号	部材	備考
鉄骨小梁 SB20	H-200×100×5.5×8	
SB30	H-300×150×6.5×9	
SB40	H-400×200×8×13	
RC小梁 B60	350×600	
スラブ S15	t=150	
S18	t=180	
CS22	t=220	
壁 W18	t=180	

- 屋根伏図 共通事項
(特記なき限り下記による)
1. 小梁符号 B60
 2. スラブ符号 S15

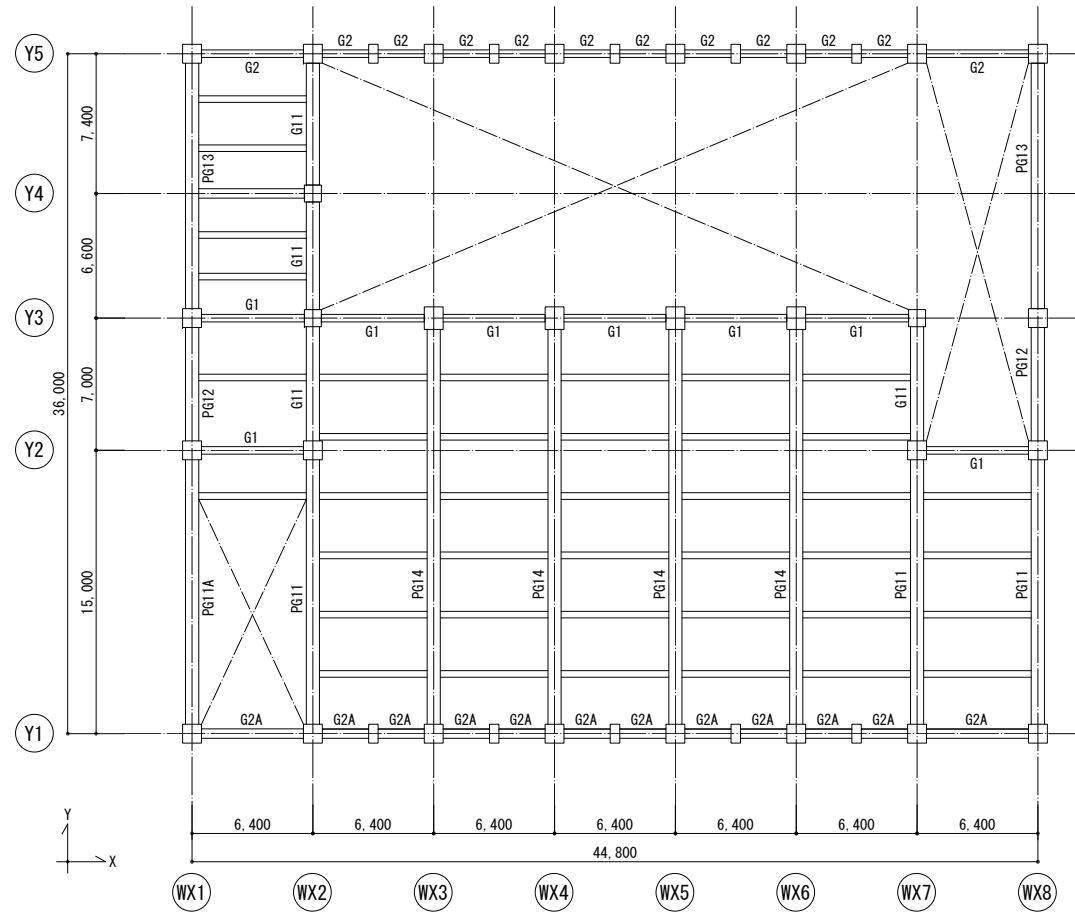
- 屋上階伏図 共通事項
(特記なき限り下記による)
1. 小梁符号 B60
 2. スラブ符号 S22
 3. 壁符号 W18

- 5階伏図 共通事項
(特記なき限り下記による)
1. 小梁符号 B60
 2. スラブ符号 S15
 3. 壁符号 W18

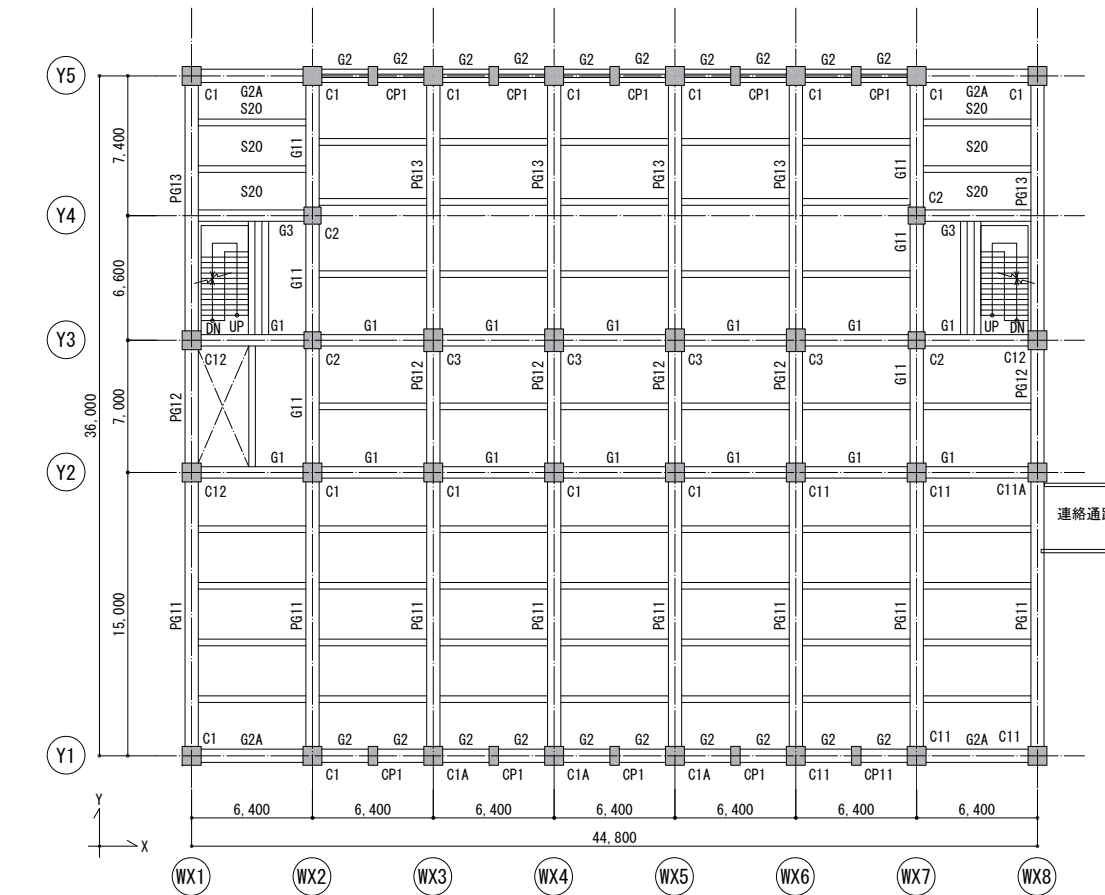
- 4階伏図 共通事項
(特記なき限り下記による)
1. 小梁符号 B60
 2. スラブ符号 S15
 3. 壁符号 W18



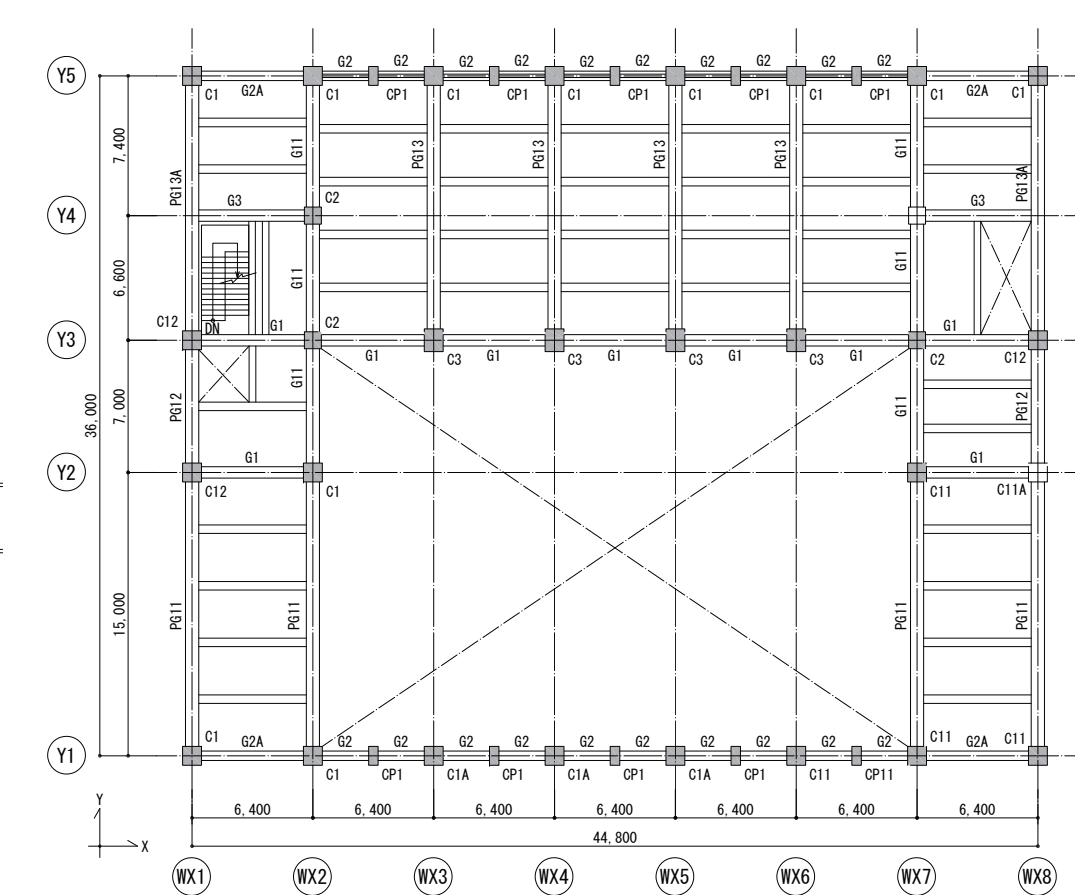
5階伏図



屋根伏図



4階伏図



屋上階伏図

屋根部材リスト

RC大梁	符号	部材	備考
	G1	400×950	
	G2	400×800	
	G2A	500×950	
	G11, PG12	700×800	
	PG11, PG11A, PG13	700×1000	
	PG14	700×1300	

屋上階部材リスト

RC柱	符号	部材	備考
	C1, C1A, C11, C11A, C12	1000×1000	
	C2	900×900	
	C3	1000×1200	
	CP1, CP11	500×1000	
RC大梁	G1	600×900	
	G2, G2A	500×900	
	G3	600×800	
	G11, PG12	700×800	
	PG11, PG13A	700×1100	
	PG13	700×1150	

5階部材リスト

RC柱	符号	部材	備考
	C1, C1A, C11, C11A, C12	1000×1000	
	C2	900×900	
	C3	1000×1200	
	CP1, CP11	500×1000	
RC大梁	G1, G3	600×800	
	G2, G2A	700×900	
	G11, PG12	700×800	
	PG11, PG13	700×1100	

4階部材リスト

RC柱	符号	部材	備考
	C1, C1A, C11, C11A, C12	1000×1000	
	C2	900×900	
	C3	1000×1200	
	CP1, CP11	500×1000	
RC大梁	G1, G3	600×800	
	G2, G2A	700×900	
	G11, PG12	700×800	
	PG11, PG13	700×1100	

全階共通部材リスト

RC小梁	符号	部材	備考
	B60	350×600	
スラブ	S15	t=150	
	S18	t=180	
	S20	t=200	
	S22	t=220	
壁	W18	t=180	